

札幌市保養センター駒岡屋外施設活用方針



平成30年（2018年）3月

目次

第1	はじめに	1
1	札幌市保養センター駒岡の概要	1
2	方針策定の趣旨	6
第2	屋外施設活用の視点	7
1	解決すべき課題	7
2	目指すべき将来像	8
第3	屋外施設活用の取組の方向性	10
1	屋外施設の整備・充実	10
2	運営上の工夫・改善	12
資	料	
編		15

第1 はじめに

1 札幌市保養センター駒岡の概要

(1) 沿革

札幌市保養センター駒岡は、高齢者に低廉で健全な保健休養の場を提供するため、昭和61年に設置されました。

しかし、社会情勢が変化し、札幌市の財政状況が逼迫する中で、平成22年度に行われた市民参加による行政評価（いわゆる事業仕分け）では「不要（廃止）」との結論が出されました。

これに対し、存続を求める多くの市民の声があがり、市民議論の結果を踏まえて、平成25年に『札幌市保養センター駒岡の活用に係る基本方針』（以下「基本方針」と言う。）を策定し、施設を存続させることを決定しました。

これに基づき、平成27年度に施設を休館して、本館の大規模改修、及び熱帯植物館・屋内パークゴルフ場の解体工事を実施し、平成28年4月より基本方針に基づく運営を開始しました。

(2) 施設の概況

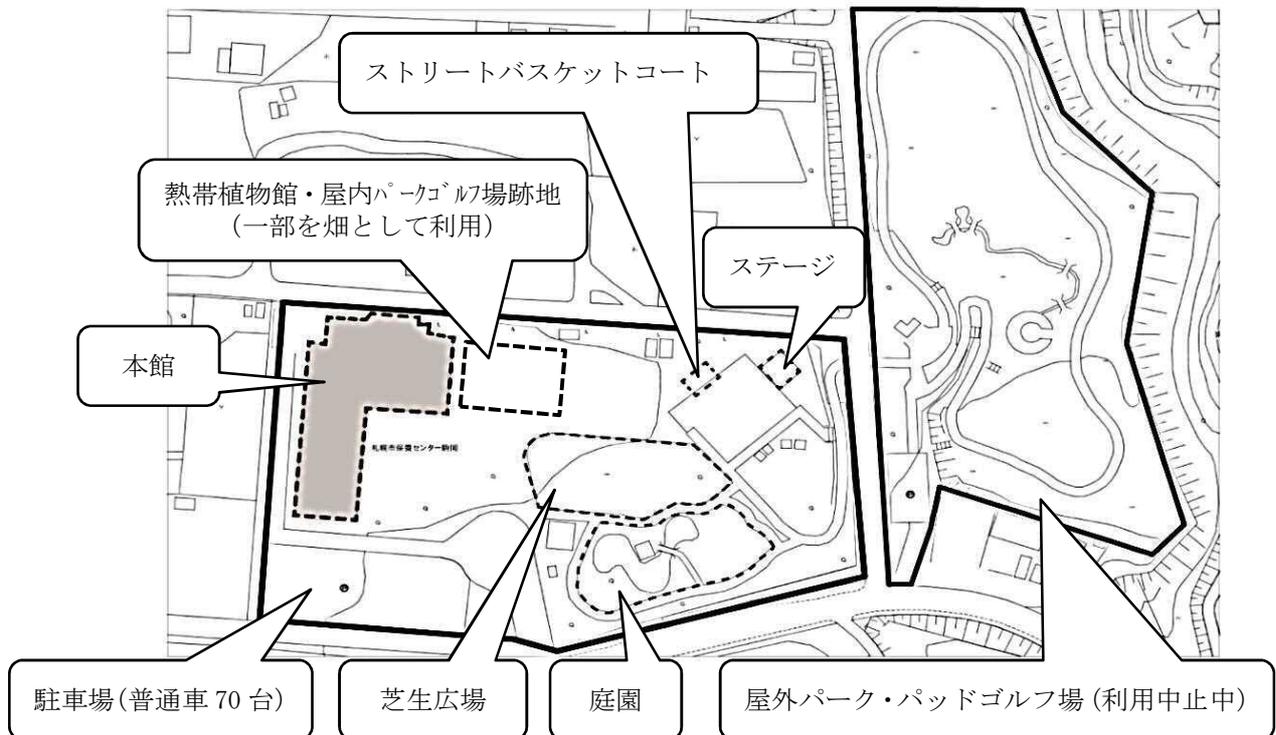
ア 設備

機 能	内 容
宿 泊	客室数 17 室 利用定員（最大宿泊可能人員）72 人
屋外パークゴルフ	9 ホール、天然芝、全長 272m
屋外パットゴルフ	18 ホール、人工芝、全長 282m
《その他》	【屋内施設】 レストラン、売店、陶芸室、娯楽室、多目的室、研修室等 【屋外施設】 日本庭園、茶室（長寿庵）、屋外ステージ等 ※ 暖房等に駒岡清掃工場の排熱を利用

※平成27年度の大規模修繕に併せて、宿泊室や浴室をバリアフリー化し、館内の熱帯植物館・屋内パークゴルフ場を解体しました。

イ 敷地見取り図

〈所在地：札幌市南区真駒内 600 番地 20〉



ウ 利用内容

保養	宿泊	60 歳以上 1 泊 2 食 5,700 円～ 素泊まり 3,200 円
	入浴	60 歳以上 日帰入浴 310 円～
地域交流	会合・宿泊研修	団体向け宴会プラン (日帰り) 2,200 円 (飲料別) ～ 団体向け宴会プラン (宿泊) 5,500 円 (飲料別) ～
	教養講座	陶芸・カラオケ・英会話など 28 講座 (定員 551 名) 月 2～4 回
	イベント	朝市 (5～11 月、毎月 2 回)、秋祭り (年 1 回) 写真講座、自然観察講座等

(3) 管理運営

指定管理者制度を導入しており、公募により選定された指定管理者が管理運営を行っています。平成28年度～平成31年度の指定管理者は、社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会です。

また、平成28年4月より基本方針に沿って運営を行っています。

札幌市保養センター駒岡の 活用に係る基本方針

担うべき役割を果たすための取り組み

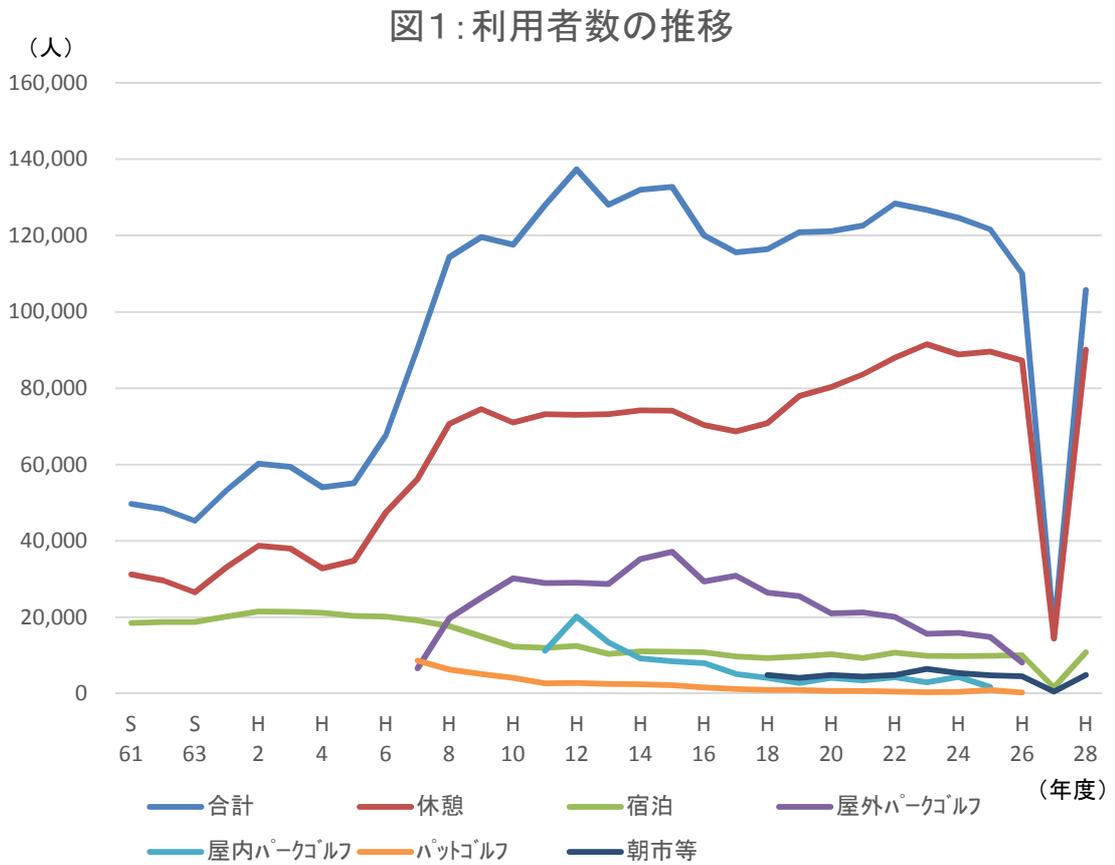
- 超高齢社会における保養機能の充実・強化
- 高齢者・障がい者等の活躍の場の提供
- コミュニティ醸成機能の維持・強化

課題への対応

- 維持運営コスト（維持修繕費・指定管理費）の縮減
- 適正な利用料の検討
- 効果的・効率的な市民への周知

(4) 利用動向

ア 長期動向

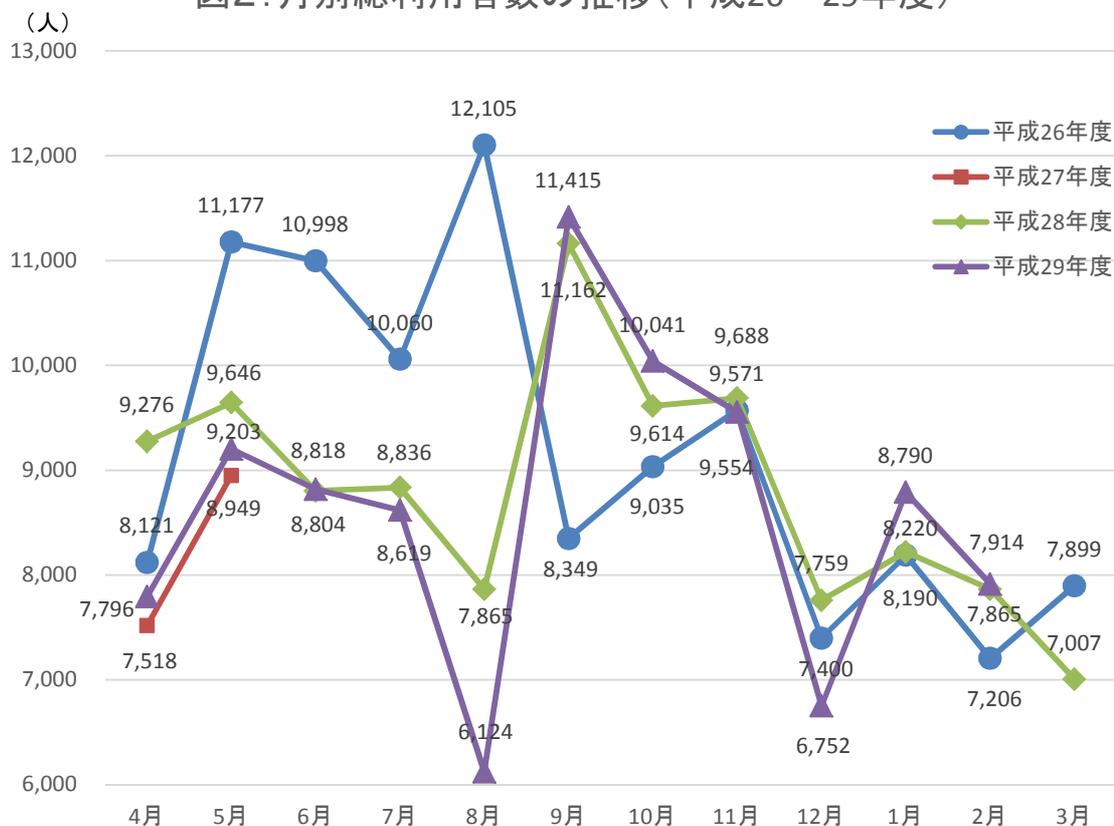


※平成27年6月より休館のため、平成27年度は4～5月分のみ

イ 近年の動向

(7) 利用者全体

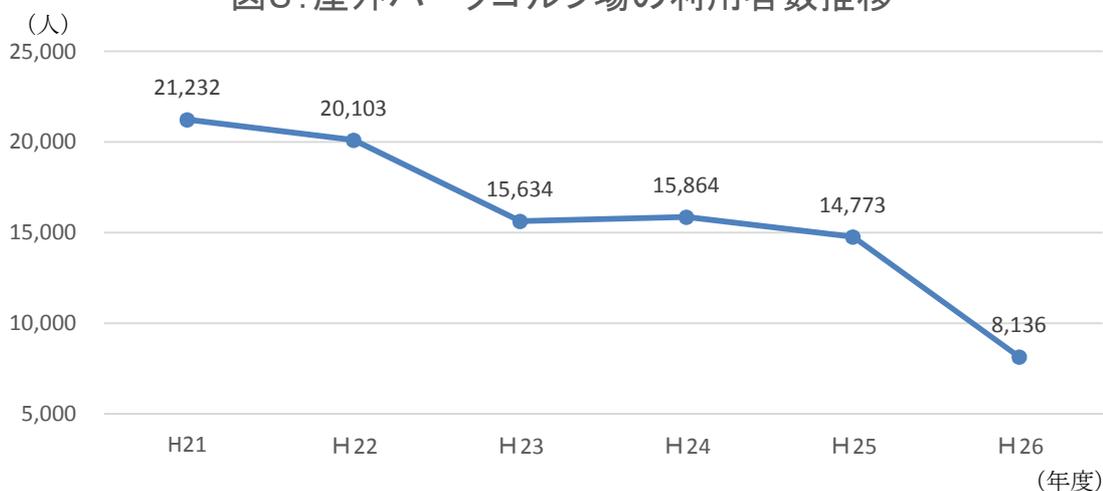
図2: 月別総利用者数の推移(平成26~29年度)



※平成27年6月より休館のため、平成27年度は4~5月分のみ

(イ) 屋外パークゴルフ場

図3: 屋外パークゴルフ場の利用者数推移



※集中豪雨による陥没のため平成26年9月より利用休止

2 方針策定の趣旨

平成 26 年 9 月の集中豪雨により屋外パークゴルフ場に大規模な陥没が発生しました。

復旧には大規模な工事を要することから、隣接するパットゴルフ場を含めた敷地全体の利用を休止していますが、健康づくりや市民の交流の空間が減少し、施設の役割を十分に果たせないことが懸念されています。

一方、近年パークゴルフ場の利用者は減少傾向にあり、修繕には膨大な経費がかかることから、市民意見を聴取した上で対応を検討することとしました。

また、基本方針では、施設の存続にあたり維持・運営経費を縮減するために、熱帯植物館・屋内パークゴルフ場を解体し、その跡地については施設の役割に沿った活用を後日検討することとしています。

そこで、これらの課題について、市民の意見、施設の現状、及び基本方針を踏まえた検討を行い、施設全体の活性化に資する屋外施設活用の方向性を「札幌市保養センター駒岡屋外施設活用方針」としてまとめました。

なお、検討に先立ち、市民意見の把握のために、学識者や利用者、地域住民等からなる「札幌市保養センター駒岡屋外施設活用検討委員会」を設置して 4 回の会議を開催したほか、アンケート、ワークショップなどを実施しました。

第2 屋外施設活用の視点

屋外施設の活用は、施設全体の活性化に資するように進めることとします。

そこで、施設全体として解決すべき現在の課題と、目指すべき将来像を以下のとおり整理し、屋外施設の活用を進める際にも留意することとします。

1 解決すべき課題

(1) 施設の魅力低下

平成27年に実施した大規模修繕工事において、基本方針に基づき屋内のバリアフリー設備を充実させ、身体機能の低下した利用者の利便性を向上させました。

しかし、活動的な高齢者にとっては、屋外パークゴルフ場・パットゴルフ場の利用を休止したために楽しめる活動が減少し、施設の魅力の低下につながっていると考えられます。

また、原則屋内のみの利用となる冬期間には、充実した時間を過ごす方法が不足しており、利用者数が伸び悩んでいます。

(2) 施設の認知不足

基本方針で課題とされた「効果的・効率的な市民への周知」については、ロゴマークの作成・活用やホームページの刷新、高齢者・障がい者団体への情報提供などの取組を行ってきました。

しかし、アンケートによると施設の名前は浸透していても、利用できるサービスやイベントまでは認知されておらず、新たな利用の拡大には不十分な状況です。

また、高齢者や障がい者専用の施設というイメージが、それ以外の方の利用を遠ざけてしまう一方で、イベントの情報などが周辺の高齢者施設等に十分に伝わっていないなど、広報活動の手法については改善の余地があると考えられます。

2 目指すべき将来像

(1) 利用内容の充実

本施設の役割は、基本方針において「保養（保健・休養）」「高齢者・障がい者等の活躍の場の提供」「コミュニティの醸成」とされています。

一方で、より多くの市民に活用されるためには、利用者のニーズに合わせた魅力づくりが欠かせません。

そこで、施設の役割に合致し、かつ魅力的な活動メニューや利用方法（「時間の過ごし方」）を、施設全体で充実させていくことが必要です。

ア 充実の方向性

(7) 多様な利用者に応じた魅力的な「時間の過ごし方」の充実

本施設の主たる対象者は、高齢者、障がい者とその家族などの介助者です。そこで、まず、多様な状態にあるこれらの方々にとって魅力があり、施設の役割にも合致する「時間の過ごし方」を充実させる必要があります。

さらに、主たる対象者に同行する子どもや、ボランティア等に取り組む若者にとっての魅力をつくることで、高齢者と障がい者の利用の促進や施設の賑わいにつながることも期待できます。

そこで、主たる利用者と、それ以外の若い世代等の双方が楽しみながら交流できる活動メニューをバランスよく盛り込んでいくことも重要です。

(4) 施設全体の効果的な活用

限られた経営資源の中で魅力をつくるためには、屋外施設だけに注目するのではなく、屋内も含む施設全体や利用者の滞在時間全体を視野に入れる必要があります。

例えば、屋外での運動と屋内での講座、レストランでの食事を組み合わせるなど、本施設が持つ設備やサービスを組み合わせることで、施設全体の効果的な活用が可能になります。

イ 想定する利用イメージ

基本方針や施設の現状、市民の意見、前述の方向性など踏まえて、屋外施設活用にあたって想定する施設全体の利用イメージを以下のとおり整理しました。

【表】 想定する利用イメージ（例示）

<p>利用者層</p> <p>■主たる利用者 高齢者・障がい者とその介助者（家族）</p> <p>■周辺の利用者 家族連れ、若者 など</p>	<p>施設内での時間の過ごし方</p> <p>■保健・休養 散策（散歩・庭園散策 など） 健康づくり（パークゴルフ、ウォーキング・ランニング、体操・介護予防講座、健康づくりサークル など） 福祉意識醸成（車椅子体験、ボランティア体験 など）</p> <p>■高齢者・障がい者等の活躍の場の提供 昔遊びの伝承（かるた、けん玉、お手玉 など） 技や知恵の伝承（自然体験、陶芸、手芸、手品 など）</p> <p>■コミュニティの醸成 遊び・楽しみ（花壇づくり・ガーデニング体験、ボール遊び、麻雀、カラオケ など） 団欒（花見、食事、ジンギスカン・バーベキュー など） イベント（朝市、フリーマーケット、交流会 など）</p>
<p>利用単位</p> <p>個人・家族 友人・知人など小集団 町内会、老人クラブ サークル・各種団体 学校・施設 など</p>	

(2) 市民とともに発展する道筋づくり

経営資源に限られる中で、利用者や地域住民の期待に応えながら施設全体を活性化するために、市民との協働を図っていくことが重要です。

そのためには、対話により施設の課題と将来像を共有し、趣味・特技を活かした参加の場をつくるなど、市民が意欲を持って、継続的に施設運営の一翼を担うことができる環境づくりが必要となります。

第3 屋外施設活用の取組の方向性

1 屋外施設の整備・充実

(1) 屋外パークゴルフ場・パットゴルフ場

屋外パークゴルフ場の復旧工事を行い、隣接するパットゴルフ場も含めた敷地全体の安全性を確保した上で、散策や軽い運動に適した空間として活用していきます。

屋外パークゴルフ場については、利用者が減少傾向にありましたが、アンケート（資料3）からは一定のニーズがあり、また、本施設の魅力の一つであることが分かりました。

そこで、高齢者や障がい者の利用を念頭に置くとともに、パークゴルフの経験が少ない方でもゆっくりと楽しむことができるように配慮しつつコースの再整備を進めることとします。

(2) 熱帯植物館・屋内パークゴルフ場跡地を含む屋外施設全域

熱帯植物館・屋内パークゴルフ場跡地、庭園、屋外パークゴルフ場・パットゴルフ場を含む屋外施設全域は、第2-2(1)イに示したとおり、健康づくりや地域住民の交流などを目的とした様々な利用方法が想定されます。

これに適した屋外の環境としては、季節の花が咲く散策路、人々が憩うベンチや木陰、花見や焼肉を楽しむことができる広場などが考えられますが、これらは既存の施設に少しずつ手を加えることで、充実させていくことが可能です。

また、植樹や花壇の整備などは、企画段階から市民が参画し、参加者同士が交流をしながら手作りで進めることで、その過程自体が、「保養」や「コミュニティ醸成」といった施設の役割の達成に寄与することも期待できます。

そこで、ボランティアや体験イベントなど、市民が楽しんで参加することができ、施設の充実にもつながる取組を行うこととします。

さらに、施設維持に必要な修繕や工事の際にも改良を加えるなど、多様な手法を組み合わせ、少しずつ屋外施設全域の充実・強化を図っていきます。

また、施設の充実・強化への市民参加を進めるために、後述する運営上の工夫・改善を推進することとします。

2 運営上の工夫・改善

屋外施設を含む施設全体を設置目的に沿って有効に活用するには、施設の充実・強化に加えて、運営面の改善も必要です。

そこで、指定管理者に対し、以下に示す方向性に沿った運営上の工夫・改善を働きかけるほか、指定管理者公募に合わせて募集基準や業務内容を見直します。

また、必要に応じて、広報をはじめとした側面的な支援を行っていきます。

なお、これらの取組を進めるにあたっては、基本方針に沿った運営を念頭に置き、サービスの充実とともに維持運営コストの縮減にも十分に配慮することとします。

【運営上の工夫・改善の方向性】

ア 広報活動の強化・改善

まず、紙媒体からインターネット上の様々なサービスに至るまで、対象者に応じて利用できる手段の拡大に努めます。

また、本施設は以前より、町内会や老人クラブなどの団体利用に下支えされてきました。そこで、さらなる認知度の向上のために、多様な高齢者等の団体とのネットワークの構築・活用を目指します。

さらに、施設のサービスや意義が理解されやすいように、参加者が楽しんでいる様子が伝わる写真を活用するなど、情報発信の手法の改善を図ります。

イ ソフトウェア面での魅力づくり

宿泊、入浴、食事、教養講座などの既存のサービスについて、アンケート等により利用者の意見を適切に把握し改善に努めることはもちろん、従来と異なる新たなソフトウェア事業の検討も求められています。

例えば、高齢者や障がい者を対象とした健康づくり等のプログラムや、高齢者・障がい者と学生の交流機会を生み出すボランティア体験研修、多世代交流を進めるおしゃべりウォーキング、冬季間のかんじきウォーキングや歩くスキーなど様々な取組が考えられます。

そこで、多様な選択肢のうち、施設の趣旨や利用者ニーズに合致し、実現可能なものについて、無理のない範囲で試行していくこととします。

なお、ソフトウェア事業の充実にあたっては、ノウハウや経営資源の不足を補うために、各種専門家や地域の学校・各種団体、技術や意欲を持った住民等との幅広

インターネットワークの構築を目指します。

とりわけ、冬季間の屋外施設の活用については手法が確立されていないことから、幅広い情報収集に努め、スノースポーツの愛好家団体や、冬季の活動場所を求めている団体等との連携・協力なども含め、様々な可能性を探ることとします。

また、初めて施設を利用した方に対し、次回の利用つなげるプログラムを提供するなど、継続的な利用者の拡大を図ります。

ウ 市民参加の促進

本施設では、地域のボランティアが運営する朝市が、利用者の増加や賑わいづくりに寄与しており、地域住民同士の親睦の場としても定着しています。

また、地域の個人や団体がボランティアとして屋外施設の維持や景観整備に協力しており、意欲ある市民が施設の魅力づくりに参画してきた実績があります。

一方、前述の多様な手法による屋外施設の充実・強化を進めるには、例えば、苗木や資材等について市民の寄附を募るほか、花壇や交流空間の整備に、園芸やガーデニング、日曜大工の愛好者などの力を借りることも考えられます。

また、ソフトウェア面の魅力づくりの取組としては、昔遊びの伝承など、市民の経験や専門性を発揮できるものもあり、本施設の今後の運営の様々な場面において、市民参加の余地を見出すことができます。

さらに、市民意見の中には、施設運営の一部を企画段階から積極的に担いたいという地域住民の要望や、ボランティア参加を通して高齢者・障がい者や様々な住民と交流したいという学生の声もありました。

そこで、市民の期待に応じて施設の魅力づくりを進めるために、ボランティアメニューの充実などにより、積極的な市民参加を促すこととします。

また、市民の善意を受け入れるにあたっては、意欲や特技を尊重するとともに、楽しさや達成感などを感じられるように努め、継続的な協力関係の構築を目指します。

これに加えて将来的には、意欲ある市民に応援団として、より幅広く継続的に、施設の活性化の一翼を担っていただくことも考えられます。

このためには、まず、市民と対話を行い、運営上の課題や施設の将来像を共有しつつ、一部のイベント等を主体的に担っていただくなど、市民の中に応援団が育っていく環境を整えることが必要となります。

さらに、このような主体的な施設活性化の活動が広がった場合には、必要に応じて、様々な活動の担い手や他の利用者の意向を調整し、協力を受け入れていくための仕組みやルールを整備することとします。

資 料 編

- 1 札幌市保養センター駒岡屋外施設活用検討委員会設置要綱
- 2 札幌市保養センター駒岡屋外施設活用検討委員会の概要
(委員名簿・検討の経過)
- 3 アンケート調査結果
- 4 ワークショップ概要

札幌市保養センター駒岡屋外施設活用検討委員会設置要綱

平成28年 7月 5日
保健福祉局長決裁

(設置)

第1条 老人休養ホーム「札幌市保養センター駒岡」の屋外施設（熱帯植物園と屋内パークゴルフ場跡地、屋外パークゴルフ場及び屋外パットゴルフ場）を『札幌市保養センター駒岡の活用に係る基本方針』（平成25年9月策定）に沿って活用するための方針・方法に係る意見の交換、聴取を目的として、老人休養ホーム「札幌市保養センター駒岡」屋外施設活用検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 委員会は、「札幌市保養センター駒岡」の屋外施設の活用方針・活用方法に関して必要な事項を協議する。

(組織)

第3条 委員会は、学識経験者等のうちから市長が委嘱する委員10名以内をもって組織する。

2 委員の任期は、平成29年3月31日までとする。

3 委員は、検討審議が終了したときは、委嘱を解かれたものとみなす。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長をそれぞれ1名ずつ置く。

2 委員長は、委員の互選により決定する。

3 副委員長は、委員長の指名により決定する。

4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(委員会の招集)

第5条 委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

(謝礼)

第6条 委員に対して、会議1回の出席につき謝礼として12,500円を支給する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、保健福祉局保健福祉部高齢福祉課において行う。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、高齢保健福祉部長が定める。

附 則

この要綱は、平成28年7月5日から施行する。

懇話会の概要

1 委員名簿（敬称略）

氏名	所属・役職等
石橋 晃仁	(公社) 北海道理学療法士会社会局 介護予防・健康増進支援部 部長
岡田 直人	北星学園大学社会福祉学部 教授
島田 三千春	真駒内駒岡町内会 会長
鈴木 久夫	芸術の森地区連合会 会長
高橋 稀一	札幌市保養センター駒岡いきいきふれあい講座 受講生連絡協議会 会長
奈須野 益	(一社) 札幌市手をつなぐ育成会 会長
花田 吉治	(一社) 札幌市老人クラブ連合会 副会長
浜田 美奈子	札幌市老人福祉施設協議会 副会長
平野 陽子	(一社) 中小企業診断協会北海道 会長
古内 一枝	石山商店街振興組合常任理事

※所属・役職等は委員就任時の内容です

※奈須野 益委員は平成 29 年 1 月にご逝去されました

2 検討の経過

日時	内容
平成 28 年 8 月 2 日 10 時～12 時	<ul style="list-style-type: none"> ・現地視察 ・検討事項に係る説明 ・施設の現状に係る意見交換
平成 28 年 9 月 14 日 9 時～11 時	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外施設の活用の方向性について ・市民参加による施設活性化の仕組みづくりについて ・アンケート・ワークショップについて
平成 29 年 1 月 26 日 10 時～12 時	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート・ワークショップ報告 ・屋外施設活用の方向性について ・報告書（素案）について
平成 29 年 2 月 15 日 10 時～11 時	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書（案）について

※場所は札幌市保養センター駒岡和室（第 3 回会議のみ、南区役所会議室）

1. 近隣区居住者に対するアンケート結果

■調査実施概要

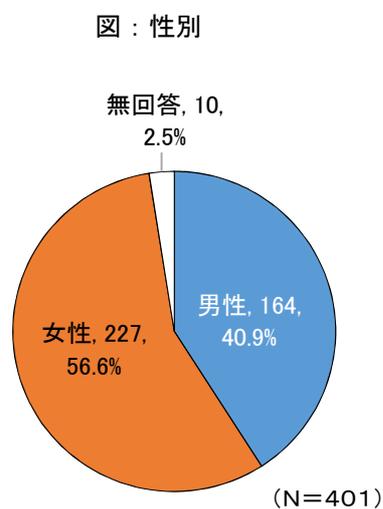
実施時期：平成 28 年 9 月 30 日～平成 28 年 10 月 23 日
 対 象：南区及び近隣区（豊平区・清田区）に移住の成人 1,000 人
 （南区：500 人、豊平区：334 人、清田区：166 人）
 配布数：1,000 票
 回収数：401 票（回収率 40.1%）

(1) 回答者属性～近隣区居住者～

性別、年代、居住地区、同居人

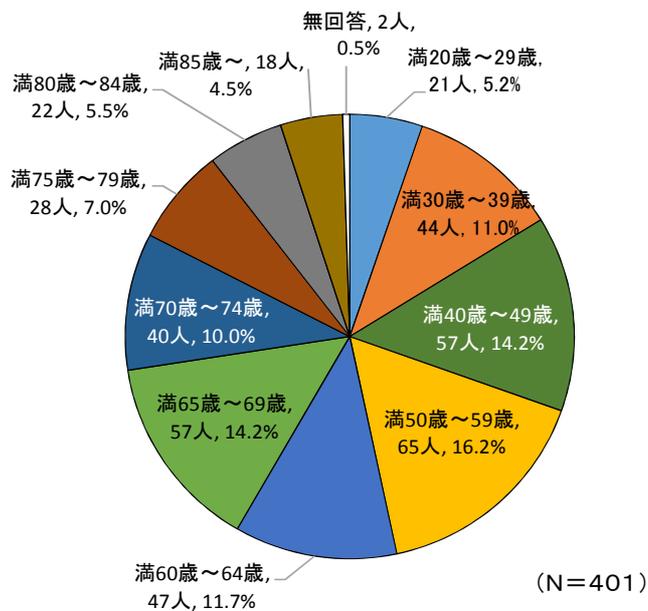
- ・回答者の性別は、男性 164 人（40.9%）、女性 227 人（56.6%）となっている。
- ・回答者の年齢は、「50 歳代（16.2%）」が最も多く、次いで「40 歳台（14.2%）」、「65 歳～69 歳（14.2%）」となっている。
- ・居住地区は、「真駒内地区（11.5%）」と最も高く、「澄川地区（10.7%）」、「豊平地区（10.5%）」となっている。
- ・回答者との同居人数は、「家族・親族と同居（51.6%）」と半数を超え、次いで「夫婦 2 人暮らし（30.4%）」、「ひとり暮らし（11.7%）」となっている。
- ・「家族・親族と同居（51.6%）」と回答された方の内訳では、「配偶者（53.4%）」、「娘（43.8%）」、「息子（41.1%）」と多く、次いで「親または配偶者の親（26.9%）」となっている。

	全 体	男 性	女 性	無 回 答
全体	401人 100.0%	164人 40.9%	227人 56.6%	10人 2.5%
南区	218人 100.0%	88人 40.4%	123人 56.4%	7人 3.2%
清田区	75人 100.0%	35人 46.7%	39人 52.0%	1人 1.3%
豊平区	108人 100.0%	41人 38.0%	65人 60.2%	2人 1.9%



	全体	満20歳～29歳	満30歳～39歳	満40歳～49歳	満50歳～59歳	満60歳～64歳	満65歳～69歳	満70歳～74歳	満75歳～79歳	満80歳～84歳	満85歳～	無回答
全体	401人 100.0%	21人 5.2%	44人 11.0%	57人 14.2%	65人 16.2%	47人 11.7%	57人 14.2%	40人 10.0%	28人 7.0%	22人 5.5%	18人 4.5%	2人 0.5%
南区	218人 100.0%	8人 3.7%	18人 8.3%	29人 13.3%	32人 14.7%	29人 13.3%	35人 16.1%	22人 10.1%	20人 9.2%	13人 6.0%	11人 5.0%	1人 0.5%
清田区	75人 100.0%	5人 6.7%	11人 14.7%	9人 12.0%	12人 16.0%	10人 13.3%	8人 10.7%	10人 13.3%	2人 2.7%	5人 6.7%	3人 4.0%	-
豊平区	108人 100.0%	8人 7.4%	15人 13.9%	19人 17.6%	21人 19.4%	8人 7.4%	14人 13.0%	8人 7.4%	6人 5.6%	4人 3.7%	4人 3.7%	1人 0.9%

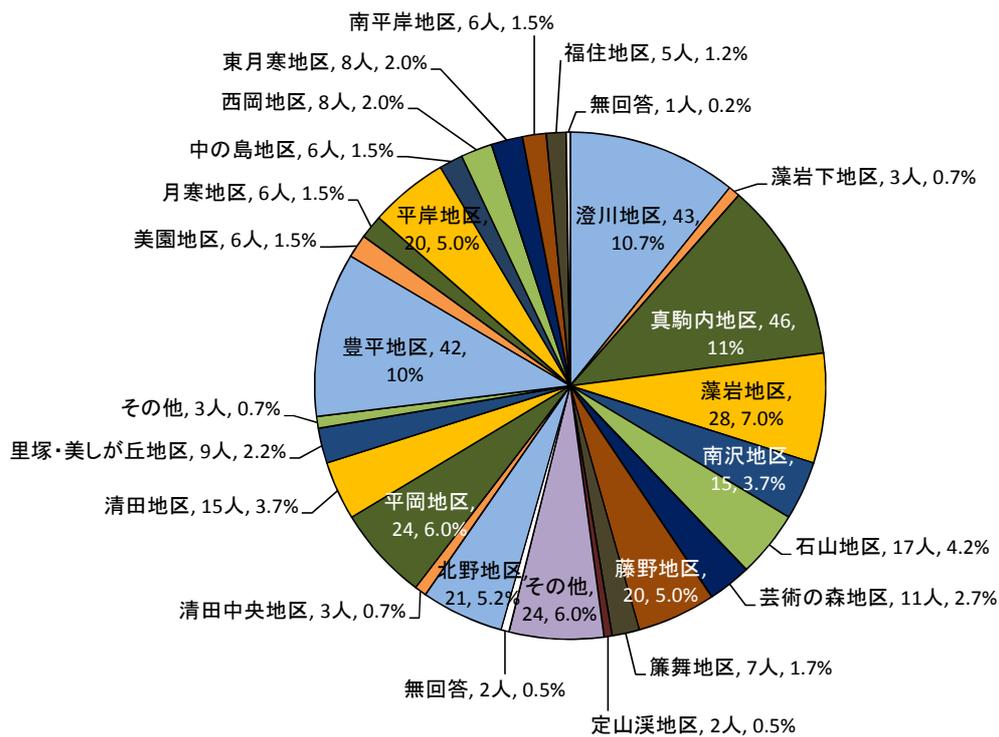
図：年齢



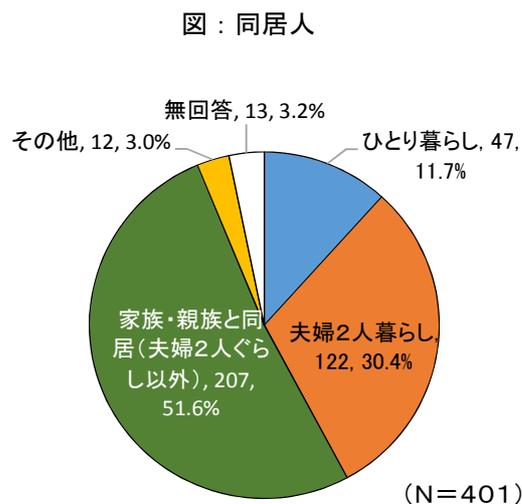
全体	南 区											
	澄川地区	藻岩下地区	真駒内地区	藻岩地区	南沢地区	石山地区	芸術の森地区	藤野地区	簾舞地区	定山溪地区	その他	無回答
401人	43人	3人	46人	28人	15人	17人	11人	20人	7人	2人	24人	2人
100.0%	10.7%	0.7%	11.5%	7.0%	3.7%	4.2%	2.7%	5.0%	1.7%	0.5%	6.0%	0.5%

清田区						豊平区										
北野地区	清田中央地区	平岡地区	清田地区	丘地区・美しが	その他	豊平地区	美園地区	月寒地区	平岸地区	中の島地区	西岡地区	東月寒地区	南平岸地区	福住地区	その他	無回答
21人	3人	24人	15人	9人	3人	42人	6人	6人	20人	6人	8人	8人	6人	5人	-	1人
5.2%	0.7%	6.0%	3.7%	2.2%	0.7%	10.5%	1.5%	1.5%	5.0%	1.5%	2.0%	2.0%	1.5%	1.2%	-	0.2%

図：居住地区

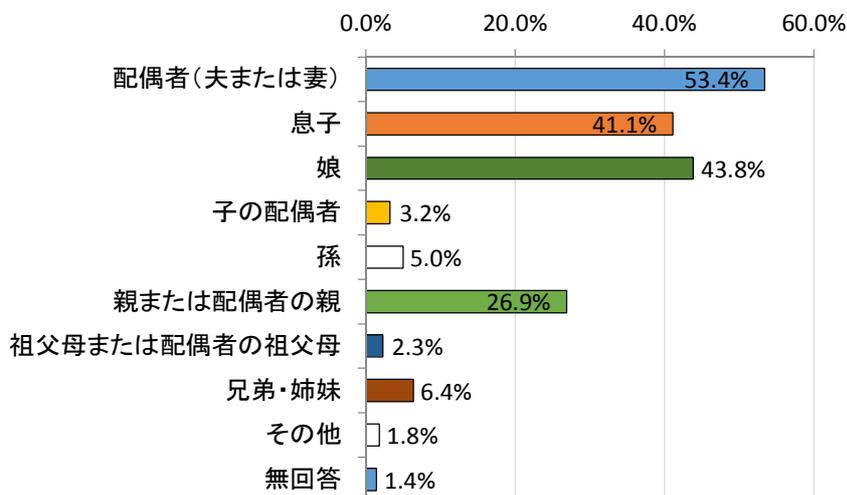


	全体	ひとり暮らし	夫婦2人暮らし	家族・親族と同居(夫婦2人暮らし以外)	その他	無回答
全体	401人 100.0%	47人 11.7%	122人 30.4%	207人 51.6%	12人 3.0%	13人 3.2%
南区	218人 100.0%	24人 11.0%	72人 33.0%	104人 47.7%	10人 4.6%	8人 3.7%
清田区	75人 100.0%	6人 8.0%	19人 25.3%	48人 64.0%	-	2人 2.7%
豊平区	108人 100.0%	17人 15.7%	31人 28.7%	55人 50.9%	2人 1.9%	3人 2.8%



	全体	配偶者(夫または妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	親または配偶者の親	祖父母または配偶者の祖父母	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	219人 100.0%	117人 53.4%	90人 41.1%	96人 43.8%	7人 3.2%	11人 5.0%	59人 26.9%	5人 2.3%	14人 6.4%	4人 1.8%	3人 1.4%
南区	114人 100.0%	57人 50.0%	41人 36.0%	48人 42.1%	5人 4.4%	6人 5.3%	31人 27.2%	1人 0.9%	6人 5.3%	3人 2.6%	2人 1.8%
清田区	48人 100.0%	27人 56.3%	21人 43.8%	19人 39.6%	1人 2.1%	2人 4.2%	17人 35.4%	4人 8.3%	5人 10.4%	-	1人 2.1%
豊平区	57人 100.0%	33人 57.9%	28人 49.1%	29人 50.9%	1人 1.8%	3人 5.3%	11人 19.3%	-	3人 5.3%	1人 1.8%	-

図：同居人



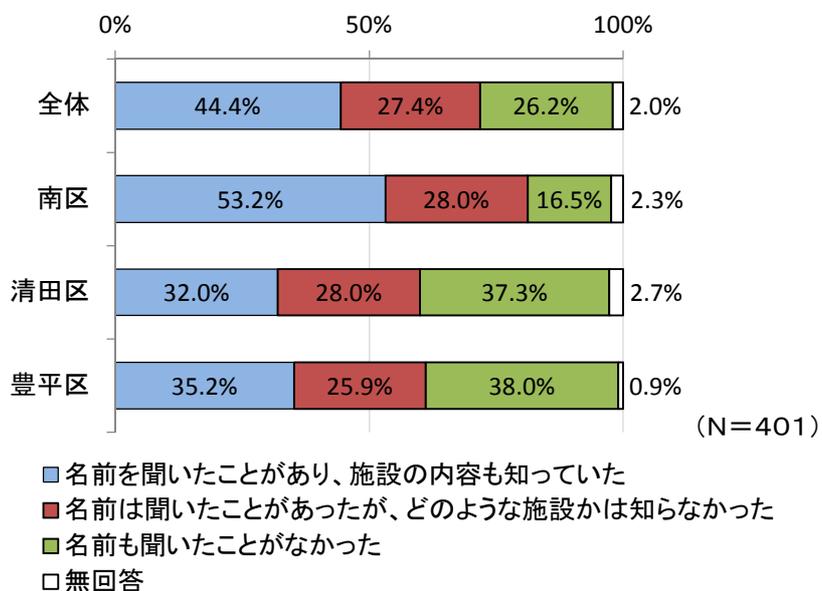
②「保養センター駒岡」について

『札幌市保養センター駒岡』を知っていましたか

- ・「名前を聞いたことがあり、施設の内容も知っていた (44.4%)」が最も多く、次いで「名前は聞いたことがあったが、どのような施設かは知らなかった (27.4%)」、「名前も聞いたことがなかった (26.2%)」となっている。

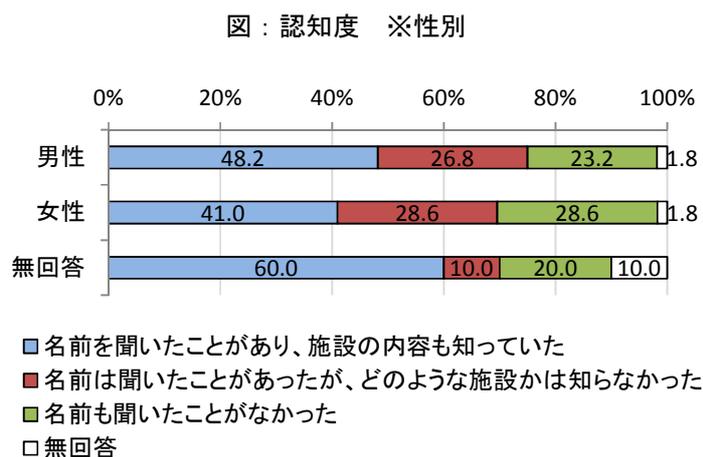
	全体	名前を聞いた施設の内容も知っていた	名前を聞いた施設の内容は知らない	名前も聞いたことがなかった	無回答
全体	401人 100.0%	178人 44.4%	110人 27.4%	105人 26.2%	8人 2.0%
南区	218人 100.0%	116人 53.2%	61人 28.0%	36人 16.5%	5人 2.3%
清田区	75人 100.0%	24人 32.0%	21人 28.0%	28人 37.3%	2人 2.7%
豊平区	108人 100.0%	38人 35.2%	28人 25.9%	41人 38.0%	1人 0.9%

図：認知度

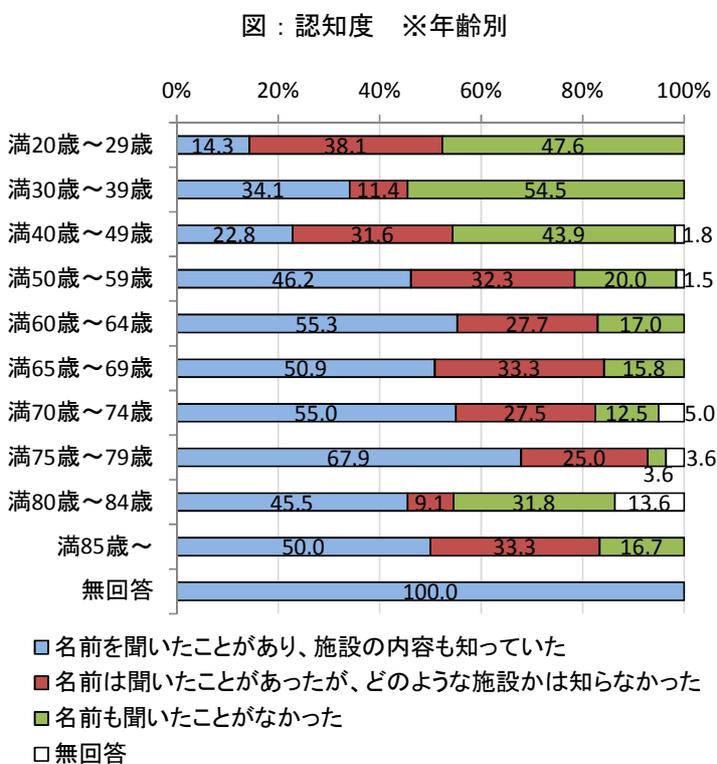


- ・性別では、割合に大きな変化はなし。
- ・年齢別では、20代、30代、40代で「名前も聞いたことがなかった」が最も多くなっている。
また、80歳以上でも、若干の変化がある。
- ・居住地別では、割合が変化している。
- ・同居人別では、割合に大きな変化はなし。

	施設名を聞いたことがあり、	名前も聞いたことがなかった	名前も聞いたことがなかった	無回答
男性	79人 48.2%	44人 26.8%	38人 23.2%	3人 1.8%
女性	93人 41.0%	65人 28.6%	65人 28.6%	4人 1.8%
無回答	6人 60.0%	1人 10.0%	2人 20.0%	1人 10.0%



年齢	名前を聞いたことがあり、施設の内容も知っていた	名前は聞いたことがあったが、どのような施設かは知らなかった	名前も聞いたことがなかった	無回答
満20歳～29歳	3人 14.3%	8人 38.1%	10人 47.6%	-
満30歳～39歳	15人 34.1%	5人 11.4%	24人 54.5%	-
満40歳～49歳	13人 22.8%	18人 31.6%	25人 43.9%	1人 1.8%
満50歳～59歳	30人 46.2%	21人 32.3%	13人 20.0%	1人 1.5%
満60歳～64歳	26人 55.3%	13人 27.7%	8人 17.0%	-
満65歳～69歳	29人 50.9%	19人 33.3%	9人 15.8%	-
満70歳～74歳	22人 55.0%	11人 27.5%	5人 12.5%	2人 5.0%
満75歳～79歳	19人 67.9%	7人 25.0%	1人 3.6%	1人 3.6%
満80歳～84歳	10人 45.5%	2人 9.1%	7人 31.8%	3人 13.6%
満85歳～	9人 50.0%	6人 33.3%	3人 16.7%	-
無回答	2人 100.0%	-	-	-

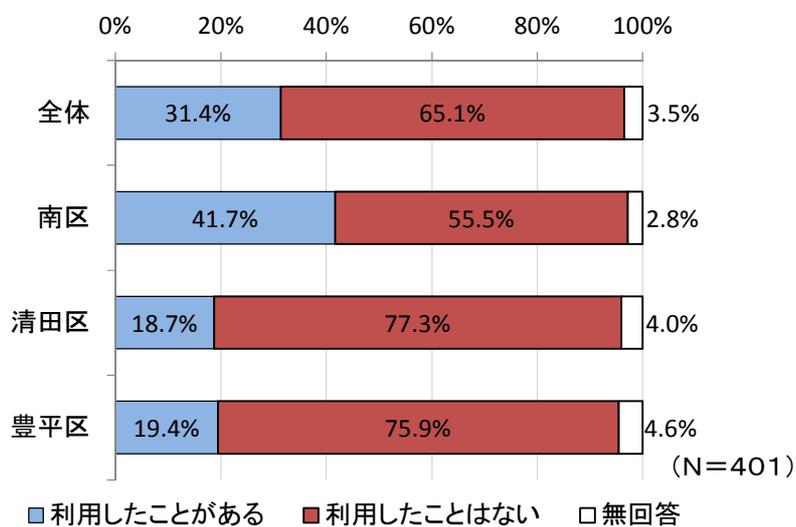


今までに『札幌市保養センター駒岡』を利用したことがありますか。

・「利用したことがある（31.4%）」に対して、「利用したことはない（65.1%）」が多く、半数以上が施設を利用したことがないと回答している。

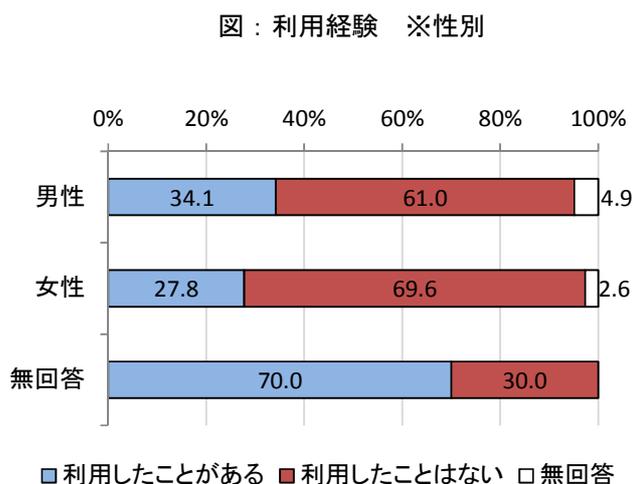
	全体	利用したことがある	利用したことはない	無回答
全体	401人 100.0%	126人 31.4%	261人 65.1%	14人 3.5%
南区	218人 100.0%	91人 41.7%	121人 55.5%	6人 2.8%
清田区	75人 100.0%	14人 18.7%	58人 77.3%	3人 4.0%
豊平区	108人 100.0%	21人 19.4%	82人 75.9%	5人 4.6%

図：利用経験

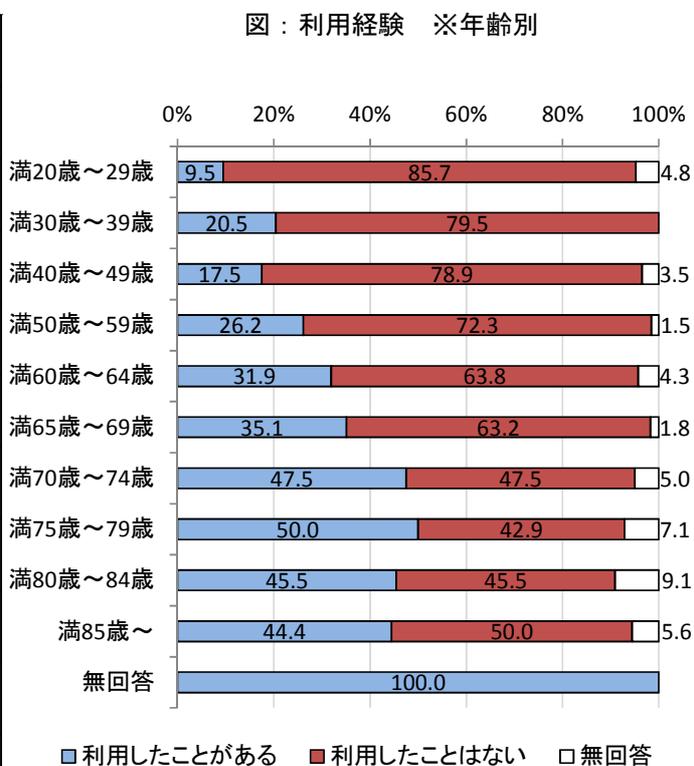


- ・性別では、割合に大きな変化はなし。
- ・年齢別では、20代、30代、40代で「利用したことはない」が他年代より多くなっている。また、70歳以上になると「利用したことがある」、「利用したことはない」が互いに半数ほどになっている。
- ・居住地別では、割合の変化が小さくなっている。
- ・同居人別では、割合に大きな変化はなし。

	利用したことがある	利用したことはない	無回答
男性	56人 34.1%	100人 61.0%	8人 4.9%
女性	63人 27.8%	158人 69.6%	6人 2.6%
無回答	7人 70.0%	3人 30.0%	-



年齢	利用したことがある	利用したことはない	無回答
満20歳～29歳	2人 9.5%	18人 85.7%	1人 4.8%
満30歳～39歳	9人 20.5%	35人 79.5%	-
満40歳～49歳	10人 17.5%	45人 78.9%	2人 3.5%
満50歳～59歳	17人 26.2%	47人 72.3%	1人 1.5%
満60歳～64歳	15人 31.9%	30人 63.8%	2人 4.3%
満65歳～69歳	20人 35.1%	36人 63.2%	1人 1.8%
満70歳～74歳	19人 47.5%	19人 47.5%	2人 5.0%
満75歳～79歳	14人 50.0%	12人 42.9%	2人 7.1%
満80歳～84歳	10人 45.5%	10人 45.5%	2人 9.1%
満85歳～	8人 44.4%	9人 50.0%	1人 5.6%
無回答	2人 100.0%	-	-

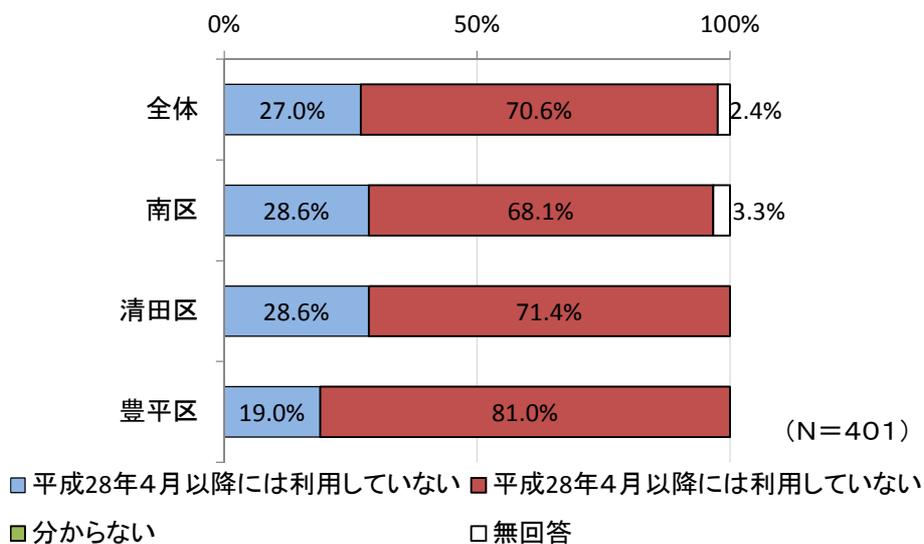


平成 28 年 4 月以降（大規模修繕工事終了後）に利用されたことはありますか。

・「平成 28 年 4 月以降に利用したことがある（27.0%）」に対し、「平成 28 年 4 月以降に利用していない（70.6%）」と修繕工事後に利用したことの多い人が多いと見られる。

	全 体	が あ る 利 用 し た 4 月 以 降	平 成 2 8 年 4 月 以 降 に 利 用 し て い な い	平 成 2 8 年 4 月 以 降 に 利 用 し て い な い	分 か ら な い	無 回 答
全体	126人 100.0%	34人 27.0%	89人 70.6%	0人 0.0%	3人 2.4%	
南区	91人 100.0%	26人 28.6%	62人 68.1%	- -	3人 3.3%	
清田区	14人 100.0%	4人 28.6%	10人 71.4%	- -	- -	
豊平区	21人 100.0%	4人 19.0%	17人 81.0%	- -	- -	

図：平成 28 年 4 月以降の利用経験

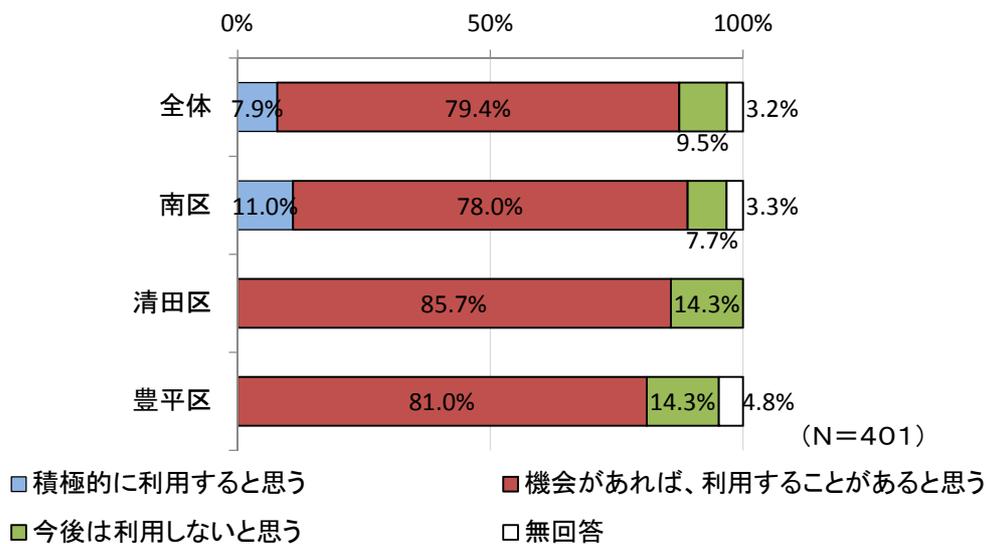


今後も『札幌市保養センター駒岡』を利用したいと思いませんか。

・「積極的に利用すると思う（7.9%）」、「機会があれば、利用すると思う（79.4%）」を合わせて、87.3%が今後も利用すると思うと回答している。

	全体	積極的に利用する	機会があれば、利用する	今後は利用しない	無回答
全体	126人 100.0%	10人 7.9%	100人 79.4%	12人 9.5%	4人 3.2%
南区	91人 100.0%	10人 11.0%	71人 78.0%	7人 7.7%	3人 3.3%
清田区	14人 100.0%	-	12人 85.7%	2人 14.3%	-
豊平区	21人 100.0%	-	17人 81.0%	3人 14.3%	1人 4.8%

図：今後の利用について

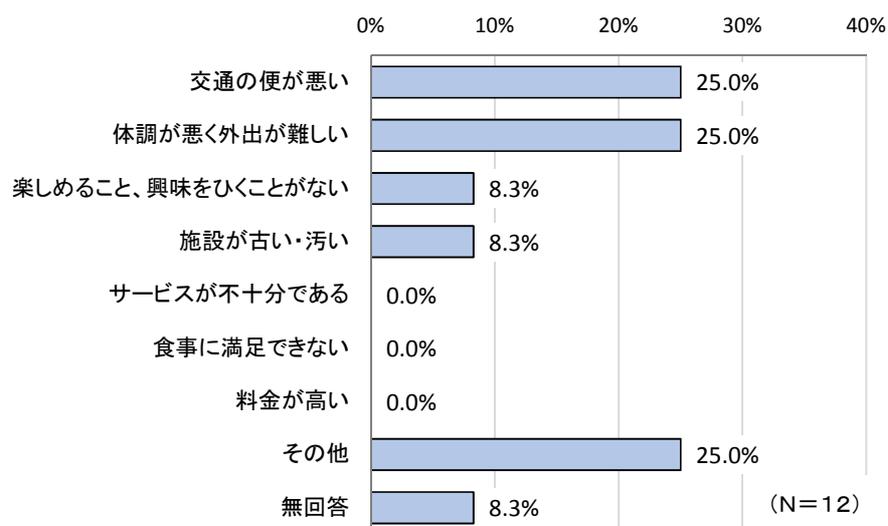


「今後は利用しないと思う」と回答された方、その理由は何ですか。

- ・「交通の便が悪い (25.0%)」、「体調が悪く外出が難しい (25.0%)」が最も多く、次いで「楽しめること、興味をひくことがない (8.3%)」、「施設が古い・汚い (8.3%)」となっている。

	全体	交通の便が悪い	体調が悪く外出が難しい	楽しめること、興味をひくことがない	施設が古い・汚い	サービスが不十分である	食事に満足できない	料金が低い	その他	無回答
全体	12人 100.0%	3人 25.0%	3人 25.0%	1人 8.3%	1人 8.3%	-	-	-	3人 25.0%	1人 8.3%
南区	7人 100.0%	1人 14.3%	2人 28.6%	1人 14.3%	1人 14.3%	-	-	-	2人 28.6%	-
清田区	2人 100.0%	1人 50.0%	-	-	-	-	-	-	1人 50.0%	-
豊平区	3人 100.0%	1人 33.3%	1人 33.3%	-	-	-	-	-	-	1人 33.3%

図：今後利用しないと思う理由

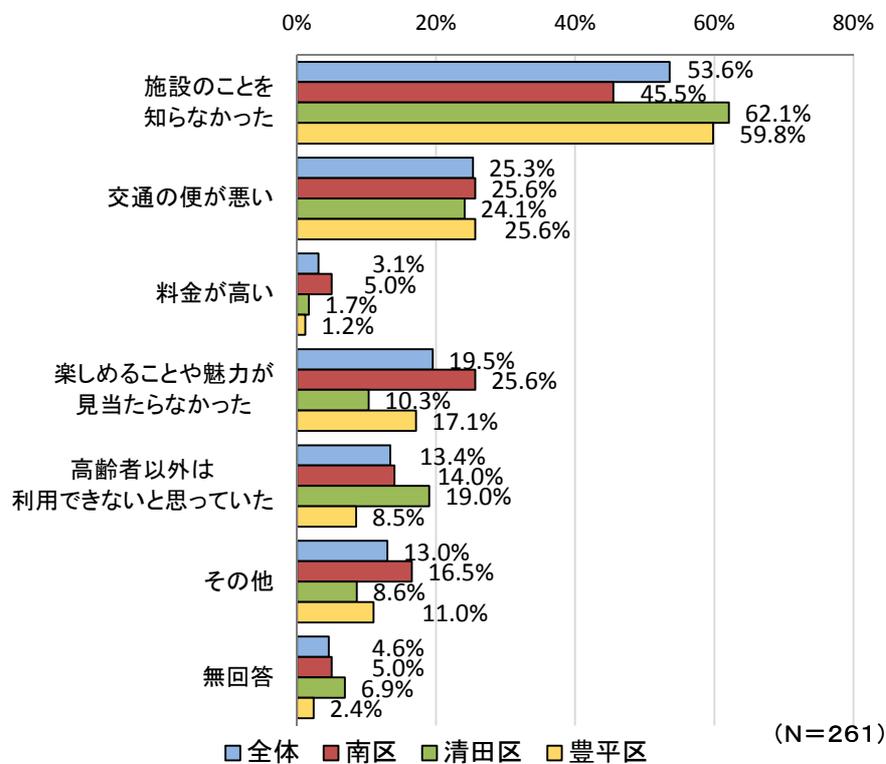


『札幌市保養センター駒岡』を利用したことがない理由は何ですか。

・「施設のことを知らなかった (53.6%)」が最も多く、次いで「交通の便が悪い (25.3%)」、「楽しめることや魅力が見当たらなかった (19.5%)」、「高齢者以外は利用できないと思っていた (13.4%)」、「料金が高い (3.1%)」となっている。

	全体	な施設の かったことを 知ら	交通の 便が悪い	料金 が高い	か力が った見 当たら なや魅	いた できない 以外は 利用	高 齢者	そ 他	無 回 答
全体	261人 100.0%	140人 53.6%	66人 25.3%	8人 3.1%	51人 19.5%	35人 13.4%	34人 13.0%	12人 4.6%	
南区	121人 100.0%	55人 45.5%	31人 25.6%	6人 5.0%	31人 25.6%	17人 14.0%	20人 16.5%	6人 5.0%	
清田区	58人 100.0%	36人 62.1%	14人 24.1%	1人 1.7%	6人 10.3%	11人 19.0%	5人 8.6%	4人 6.9%	
豊平区	82人 100.0%	49人 59.8%	21人 25.6%	1人 1.2%	14人 17.1%	7人 8.5%	9人 11.0%	2人 2.4%	

図：利用したことがない理由

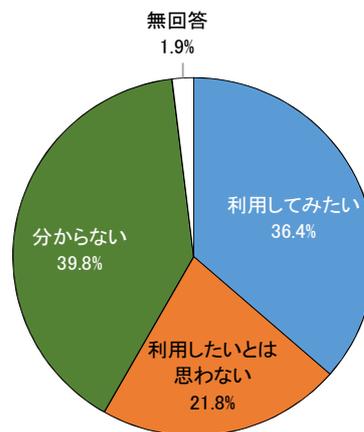


施設に関する資料を読んで、今後、施設を利用してみたいと思いませんか。

- ・「利用してみたい (36.4%)」、「利用したいとは思わない (21.8%)」、「分からない (39.8%)」となっている。

	全体	利用してみたい	利用したいとは思わない	分からない	無回答
全体	261人 100.0%	95人 36.4%	57人 21.8%	104人 39.8%	5人 1.9%
南区	121人 100.0%	43人 35.5%	25人 20.7%	52人 43.0%	1人 0.8%
清田区	58人 100.0%	20人 34.5%	15人 25.9%	22人 37.9%	1人 1.7%
豊平区	82人 100.0%	32人 39.0%	17人 20.7%	30人 36.6%	3人 3.7%

図：今後の利用について（資料を読んで）



(N=261)

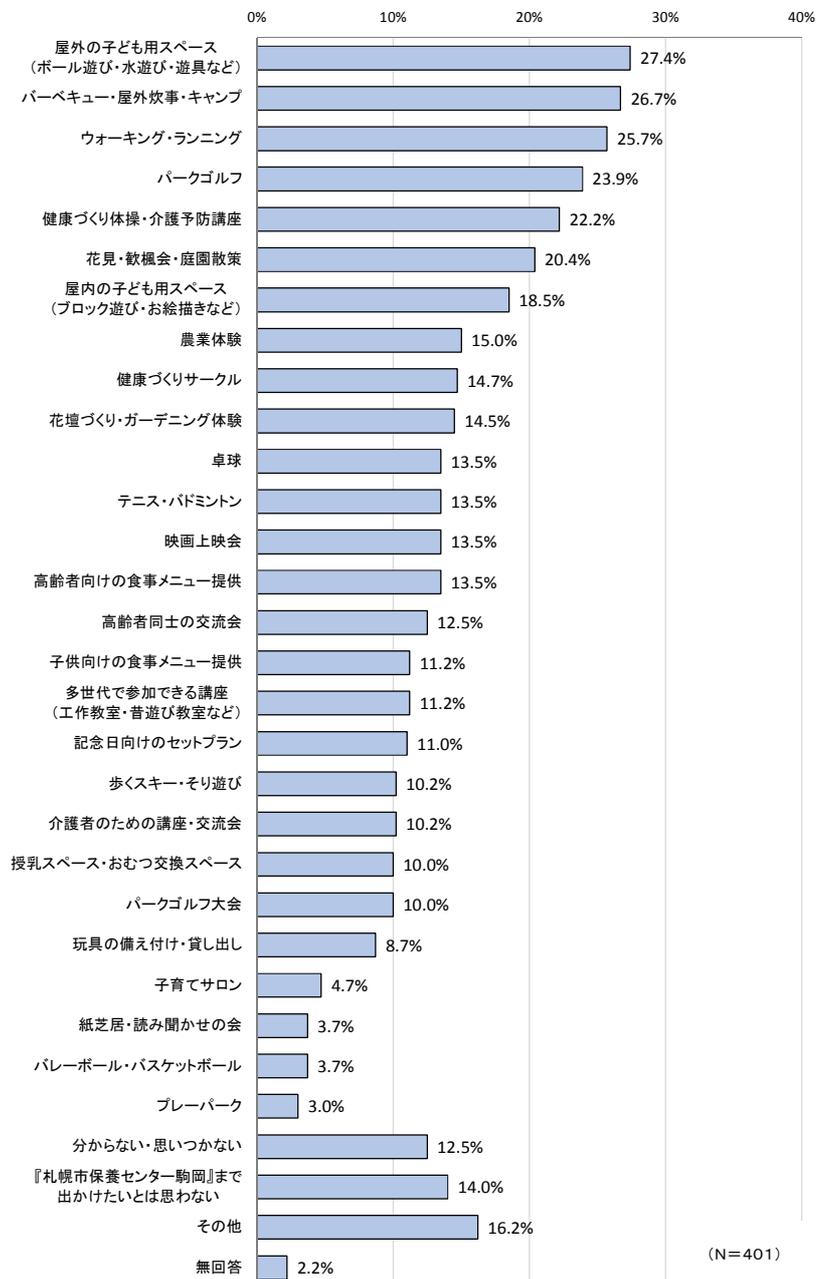
どのようなサービスや活動の機会があったら、『札幌市保養センター駒岡』まで出かけたと思いますか。

- ・「屋外子ども用スペース (27.4%)」、「バーベキュー・屋外炊事・キャンプ (26.7%)」、「ウォーキング・ランニング (25.7%)」が多く、次いで「パークゴルフ (23.9%)」、「健康づくり体操・介護予防講座 (22.2%)」、「花見・観楓会・庭園散策 (20.4%)」、「屋内子ども用スペース (18.5%)」、「農業体験 (15.0%)」となっている。

	全体	パークゴルフ	ウォーキング・ランニング	歩くスキー・そり遊び	卓球	テニス・バドミントン	バレーボール・バスケット	農業体験	花壇づくり・ガーデニング体	花見・観楓会・庭園散策	バーベキュー・屋外炊事・キャンプ	パークゴルフ大会	子育てサロン	プレーパーク	紙芝居・読み聞かせの会	映画上映会
全体	401人 100.0%	96人 23.9%	103人 25.7%	41人 10.2%	54人 13.5%	54人 13.5%	15人 3.7%	60人 15.0%	58人 14.5%	82人 20.4%	107人 26.7%	40人 10.0%	19人 4.7%	12人 3.0%	15人 3.7%	54人 13.5%
南区	218人 100.0%	52人 23.9%	55人 25.2%	19人 8.7%	29人 13.3%	29人 13.3%	5人 2.3%	31人 14.2%	32人 14.7%	45人 20.6%	49人 22.5%	27人 12.4%	8人 3.7%	9人 4.1%	10人 4.6%	26人 11.9%
清田区	75人 100.0%	21人 28.0%	15人 20.0%	7人 9.3%	9人 12.0%	9人 12.0%	4人 5.3%	9人 12.0%	10人 13.3%	15人 20.0%	21人 28.0%	6人 8.0%	4人 5.3%	-	1人 1.3%	8人 10.7%
豊平区	108人 100.0%	23人 21.3%	33人 30.6%	15人 13.9%	16人 14.8%	16人 14.8%	6人 5.6%	20人 18.5%	16人 14.8%	22人 20.4%	37人 34.3%	7人 6.5%	7人 6.5%	3人 2.8%	4人 3.7%	20人 18.5%

	多世代で参加できる講座（工作教室・昔遊び教室など）	健康づくり体操・介護予防講座	健康づくりサークル	高齢者向けの食事メニュー提供	高齢者同士の交流会	介護者のための講座・交流会	記念日向けのセットプラン	屋外の子ども用スペース（ボール遊び・水遊び・遊具など）	屋内の子ども用スペース（ブロック遊び・お絵描きなど）	玩具の備え付け・貸し出し	授乳スペース・おむつ交換スペース	子供向けの食事メニュー提供	分からない・思いつかない	『札幌市保養センター駒岡』まで出かけたとは思わない	その他	無回答
全体	45人 11.2%	89人 22.2%	59人 14.7%	54人 13.5%	50人 12.5%	41人 10.2%	44人 11.0%	110人 27.4%	74人 18.5%	35人 8.7%	40人 10.0%	45人 11.2%	50人 12.5%	56人 14.0%	65人 16.2%	9人 2.2%
南区	25人 11.5%	55人 25.2%	33人 15.1%	34人 15.6%	28人 12.8%	23人 10.6%	21人 9.6%	51人 23.4%	36人 16.5%	17人 7.8%	16人 7.3%	21人 9.6%	28人 12.8%	25人 11.5%	42人 19.3%	6人 2.8%
清田区	10人 13.3%	12人 16.0%	6人 8.0%	9人 12.0%	11人 14.7%	6人 8.0%	11人 14.7%	26人 34.7%	13人 17.3%	6人 8.0%	8人 10.7%	9人 12.0%	10人 13.3%	16人 21.3%	11人 14.7%	1人 1.3%
豊平区	10人 9.3%	22人 20.4%	20人 18.5%	11人 10.2%	11人 10.2%	12人 11.1%	12人 11.1%	33人 30.6%	25人 23.1%	12人 11.1%	16人 14.8%	15人 13.9%	12人 11.1%	15人 13.9%	12人 11.1%	2人 1.9%

図：魅力的を感じるサービスなど



2. 施設利用者アンケート結果

■調査実施概要

実施時期：平成28年10月1日～平成28年10月23日

対 象：保養センター駒岡利用者

設 置 数：500票

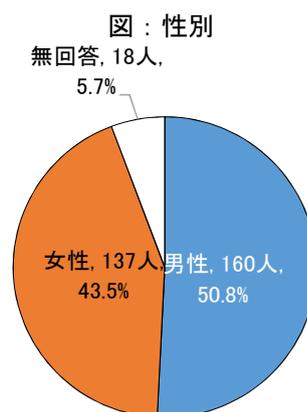
有 効 数：315票

①回答者属性～施設利用者～

性別、年代、居住地

- ・回答者の性別は、男性160人（50.8%）、女性137人（43.5%）となっている。
- ・回答者の年齢は、「75歳～79歳（26.0%）」が最も多く、次いで「70歳～74歳（22.5%）」、「80歳～84歳（14.3%）」となっている。
- ・回答者の居住区は「南区（32.4%）」が最も多く、次いで「豊平区（12.7%）」、「北区（9.5%）」、「東区（9.2%）」と近隣区が若干多くなっているが、全区から訪れている。

全体	男性	女性	無回答
315人	160人	137人	18人
100.0%	50.8%	43.5%	5.7%

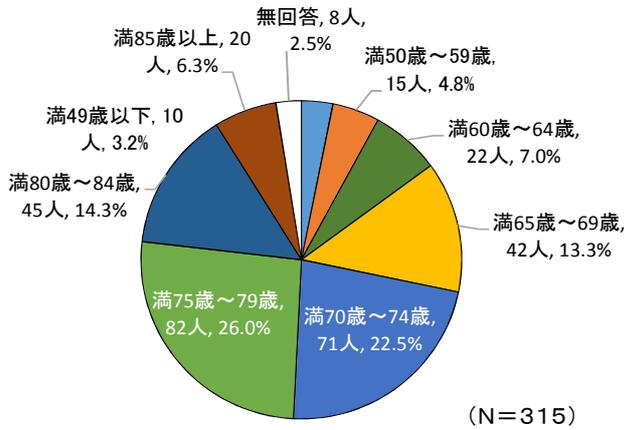


(N=315)

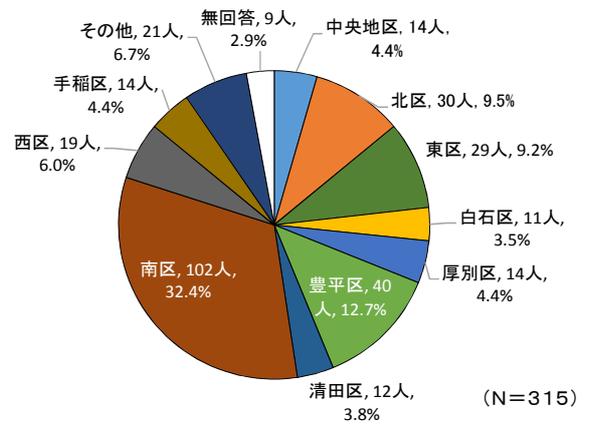
全体	満4 9歳 以下	満5 0歳 ～ 5 9歳	満6 0歳 ～ 6 4歳	満6 5歳 ～ 6 9歳	満7 0歳 ～ 7 4歳	満7 5歳 ～ 7 9歳	満8 0歳 ～ 8 4歳	満8 5歳 以上	無回答
315人	10人	15人	22人	42人	71人	82人	45人	20人	8人
100.0%	3.2%	4.8%	7.0%	13.3%	22.5%	26.0%	14.3%	6.3%	2.5%

全体	中央地区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	その他	無回答
315人	14人	30人	29人	11人	14人	40人	12人	102人	19人	14人	21人	9人
100.0%	4.4%	9.5%	9.2%	3.5%	4.4%	12.7%	3.8%	32.4%	6.0%	4.4%	6.7%	2.9%

図：年齢



図：居住地

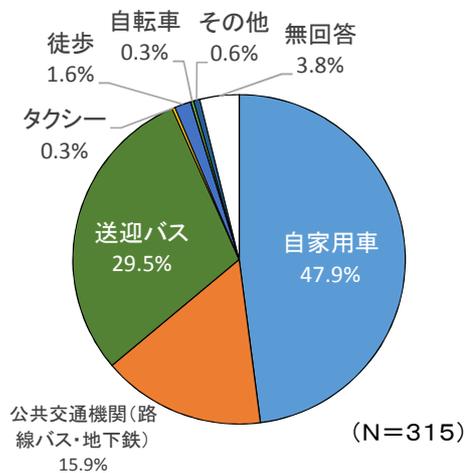


交通手段

・「自家用車 (47.9%)」が最も多く、次いで「送迎バス (29.5%)」、「公共交通機関 (15.9%)」となっている。

全体	自家用車	公共交通機関 (路線バス・地下鉄)	送迎バス	タクシー	徒歩	自転車	その他	無回答
315人	151人	50人	93人	1人	5人	1人	2人	12人
100.0%	47.9%	15.9%	29.5%	0.3%	1.6%	0.3%	0.6%	3.8%

図：交通手段

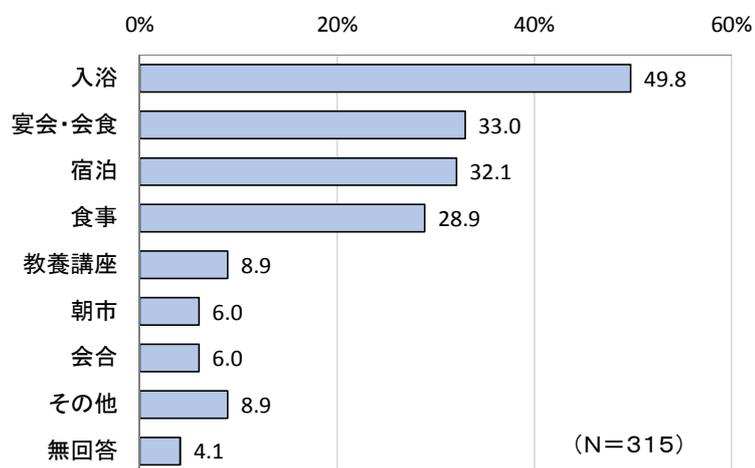


利用内容

・「入浴 (49.8%)」と最も多く、利用者の約半数が利用している。次いで、「宴会・会食 (33.0%)」、「宿泊 (32.1%)」、「食事 (28.9%)」となっている。

全体	入浴	宿泊	食事	教養講座	朝市	会合	宴会・会食	その他	無回答
315人	157人	101人	91人	28人	19人	19人	104人	28人	13人
100.0%	49.8%	32.1%	28.9%	8.9%	6.0%	6.0%	33.0%	8.9%	4.1%

図：利用内容

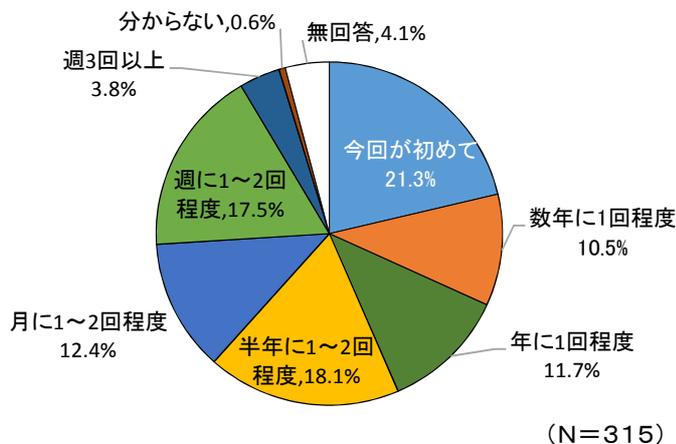


利用頻度

・「今回が初めて (21.3%)」が最も多く、「週3回以上 (3.8%)」、「週に1~2回程度 (17.5%)」、「月に1~2回程度 (12.4%)」を合わせると月1回以上の利用者は約3割となっている。

全体	今回が初めて	数年 に1回 程度	年 に1回 程度	半年 に1 ~2回 程度	月に 1 ~2回 程度	週に 1 ~2回 程度	週3 回以上	分 から ない	無 回 答
315人	67人	33人	37人	57人	39人	55人	12人	2人	13人
100.0%	21.3%	10.5%	11.7%	18.1%	12.4%	17.5%	3.8%	0.6%	4.1%

図：利用頻度

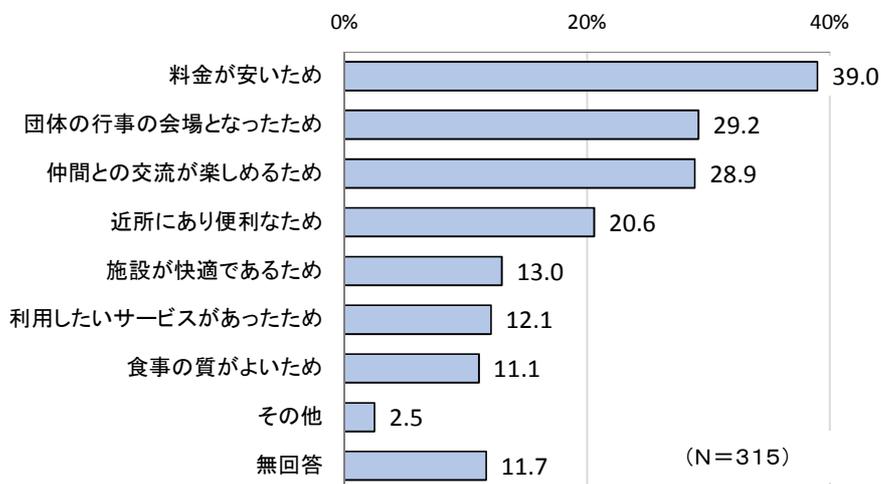


利用する理由

・「料金が安い(ため) (39.0%)」が最も多く、次いで「団体の行事の会場となったため (29.2%)」、「仲間との交流が楽しめるため (28.9%)」、「近所にあり便利なため (20.6%)」となっている。

理由	人数	割合
料金が安い(ため)	123人	39.0%
団体の行事の会場となったため	92人	29.2%
仲間との交流が楽しめるため	91人	28.9%
近所にあり便利なため	65人	20.6%
施設が快適であるため	41人	13.0%
利用したいサービスがあったため	38人	12.1%
食事がよい(ため)	35人	11.1%
その他	8人	2.5%
無回答	37人	11.7%
全体	315人	100.0%

図：利用する理由

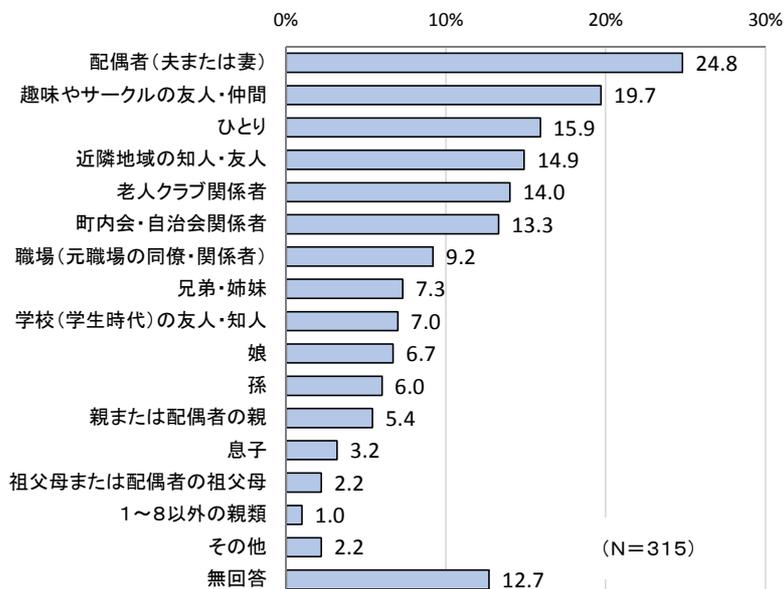


これまでどのような方と利用しましたか。

・「配偶者（24.8%）」が最も多く、「趣味やサークルの友人・仲間（19.7%）」、「近隣地域の知人・友人（14.9%）」となっている。また、「ひとり（15.9%）」となっている。

全体	ひとり	配偶者（夫または妻）	息子	娘	孫	親または配偶者の親	祖父母または配偶者の祖父母	兄弟・姉妹	1～8以外の親類	近隣地域の知人・友人	町内会・自治会関係者	老人クラブ関係者	趣味やサークルの友人・仲間	職場（元職場の同僚・関係者）	学校（学生時代）の友人・知人	その他	無回答
315人	50人	78人	10人	21人	19人	17人	7人	23人	3人	47人	42人	44人	62人	29人	22人	7人	40人
100.0%	15.9%	24.8%	3.2%	6.7%	6.0%	5.4%	2.2%	7.3%	1.0%	14.9%	13.3%	14.0%	19.7%	9.2%	7.0%	2.2%	12.7%

図：利用した人

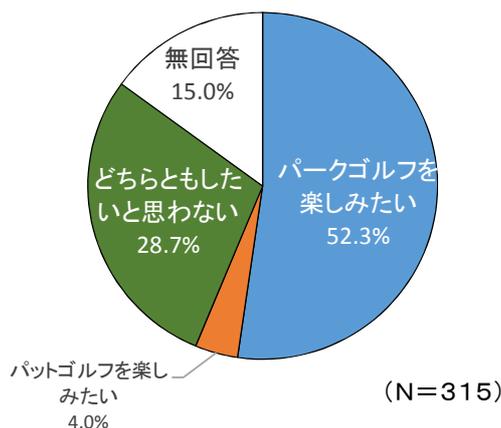


以前の様に施設でパークゴルフ又はパットゴルフを楽しみたいと思いませんか。

・「パークゴルフを楽しみたい（54.3%）」と半数を超え、「パットゴルフを楽しみたい（4.1%）」は少なくなっている。また、「どちらともしたいと思わない（29.8%）」となっている。

全体	たいパークゴルフを楽しみたい	たパットゴルフを楽しみたい	わどちらともしたいと思わない	無回答
315人	171人	13人	94人	49人
100.0%	54.3%	4.1%	29.8%	15.6%

図：パークゴルフ・パットゴルフについて

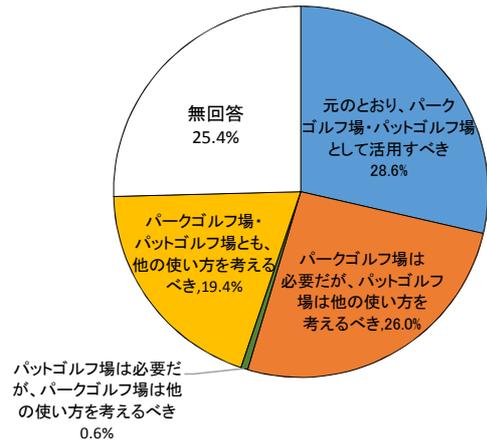


現在休止中の屋外パークゴルフ場・パットゴルフ場の今後の活用について、どのようにお考えですか。

・「元のとおり、活用すべき (28.6%)」と最も多かったが、どちらか、または両方とも他の使い方を考えるべきという回答が 46.0%となっている。

全体	元のとおり、パークゴルフ場・パットゴルフ場として活用すべき	パークゴルフ場は必要だが、パットゴルフ場は他の使い方を考えるべき	パットゴルフ場は必要だが、パークゴルフ場は他の使い方を考えるべき	パークゴルフ場とも、パットゴルフ場とも、他の使い方を考えるべき	無回答
315人	90人	82人	2人	61人	80人
100.0%	28.6%	26.0%	0.6%	19.4%	25.4%

図：パーク・パットゴルフ場の活用について



(N=315)

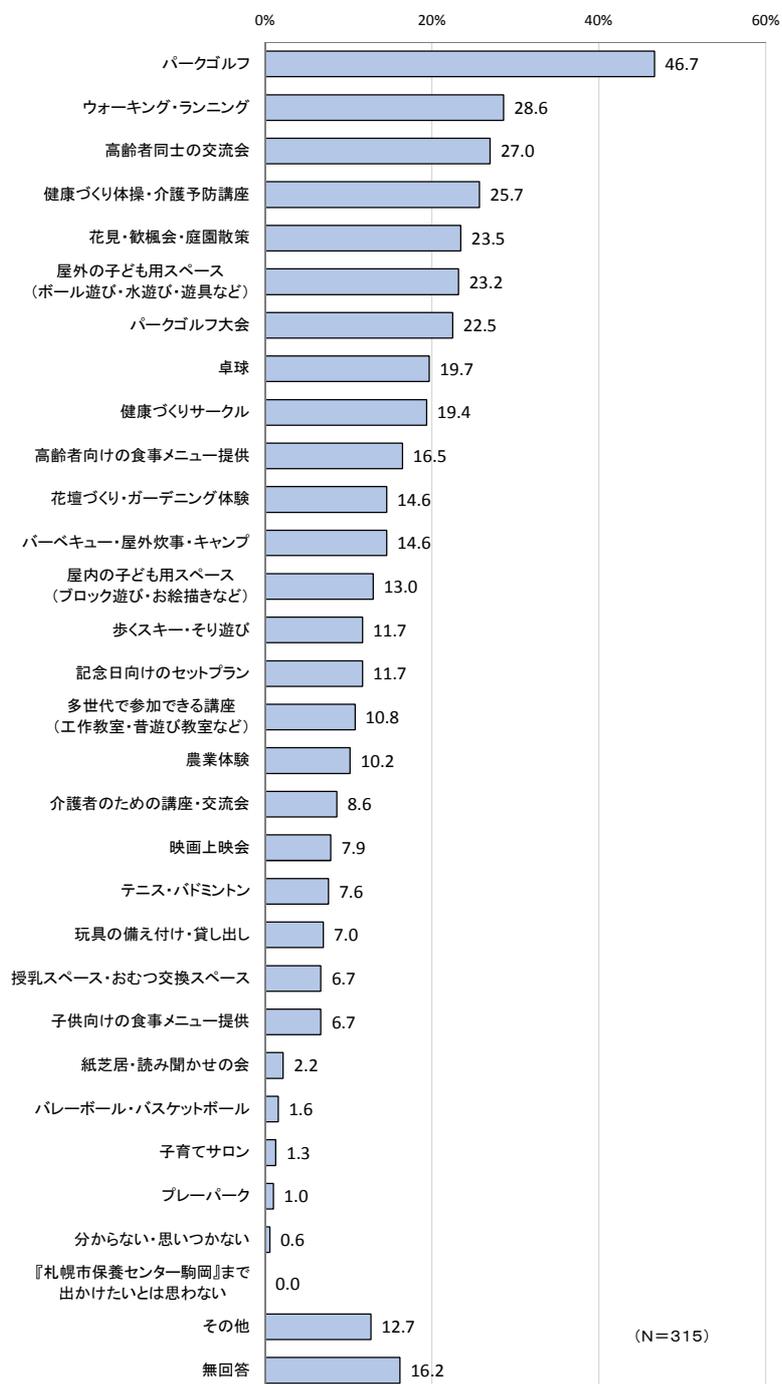
どのようなサービスや活動の機会があったら、『札幌市保養センター駒岡』まで出かけたと思いますか。

・「パークゴルフ (46.7%)」と最も多く、約半数の方が回答している。次いで「ウォーキング・ランニング (28.6%)」、「高齢者同士の交流」27.0%、「健康づくり体操・介護予防講座 (25.7%)」、「花見・観楓会・庭園散策 (23.5%)」、「屋外の子ども用スペース (23.2%)」、「パークゴルフ大会 (22.5%)」となっている。

全体	パークゴルフ	ウォーキング・ランニング	歩くスキー・そり遊び	卓球	テニス・バドミントン	バレーボール・バスケットボール	農業体験	花壇づくり・ガーデニング体験	花見・観楓会・庭園散策	バーベキュー・屋外炊事・キャンプ	パークゴルフ大会	子育てサロン	プレーパーク	紙芝居・読み聞かせの会	映画上映会
315人	147人	90人	37人	62人	24人	5人	32人	46人	74人	46人	71人	4人	3人	7人	25人
100.0%	46.7%	28.6%	11.7%	19.7%	7.6%	1.6%	10.2%	14.6%	23.5%	14.6%	22.5%	1.3%	1.0%	2.2%	7.9%

多世代で参加できる講座 (など)	健康づくり体操・介護予防講座	健康づくりサークル	高齢者向けの食事メニュー提供	高齢者同士の交流会	介護者のための講座・交流会	記念日向けのセットプラン	屋外の子ども用スペース (ボール遊び・水遊び・遊具など)	屋内の子ども用スペース (ブロック遊び・お絵描きなど)	玩具の備え付け・貸し出し	授乳スペース・おむつ交換スペース	子供向けの食事メニュー提供	分からない・思いつかない	『札幌市保養センター駒岡』まで出かけたかったとは思わない	その他	無回答
34人	81人	61人	52人	85人	27人	37人	73人	41人	22人	21人	21人	2人	-	40人	51人
10.8%	25.7%	19.4%	16.5%	27.0%	8.6%	11.7%	23.2%	13.0%	7.0%	6.7%	6.7%	0.6%	-	12.7%	16.2%

図：魅力を感じるサービスなど



みんなの「保養センター駒岡」を考えるワークショップ 開催結果

1. 開催目的

保養センター駒岡の今ある施設を有効活用し、魅力ある過ごし方や、楽しく過ごすためのアイデアを参加者と考え、今後の運営に活かしていく。ご意見は、主に屋外空間の検討に活用する。

2. 開催概要

日 時：平成 28 年 12 月 11 日（日）10：00～13：00

日 時：保養センター駒岡 2 階 大広間

参加者：40 名

3. 開催結果

(1) 趣旨などの説明

みんなの「保養センター駒岡」を考えるワークショップ開催に至った経緯や位置付けを含め、開催趣旨について説明を行った。



(2) 現地見学

初めて保養センター駒岡（以下、同施設）に訪れた参加者もいたため、参加者全員とともに、現地見学を行い、施設内と屋外空間の現状や雰囲気、位置関係等を体感してもらった。



(3) 情報提供

現地見学後は休憩を挟み、同施設の概要や平成 22 年の行政評価（事業仕分け）を経て存続に至った経緯、パット及びパークゴルフ場が災害の影響により休止中であること、ワークショップの進め方について情報提供を行った。



(4) ワークショップ

ワークショップのテーマ、進め方の説明の後、7つのグループに分かれてグループでの意見交換を行った。

ワークショップのテーマ1では、『保養センター駒岡の今後の活用を考えるうえで、大切にしたいキーワード』を確認するワークシート（レーダーチャート）などを使って討議した。加えて、『利用イメージ（過ごし方）と利用者層（ターゲット）』についてワークシートを使って、今ある施設を活用しながら今後もたくさんの人に利用してもらおう魅力づくりやアイデア出しを行った。各グループで出された意見を共有するため、テーマ1の討議終了後、グループごとの発表を行った。

テーマ2では、ここまでの議論を踏まえて『保養センター駒岡で楽しく過ごすための活動プログラム（ソフトの取組）』について討議した。テーマ1と同様にテーマ2の討議終了後、グループごとの発表を行った。

最後にワークショップ全体のまとめ（共通するアイデアや意見の傾向など）を行った。

4. 当日プログラム

時間	内容	
10：00	1. 開会	—
10：05	2. 本日のプログラム、趣旨説明	開催趣旨や、ワークショップのプログラム等を説明
10：10	3. 現地見学	参加者とともに植物館跡地や、バスケットボールコート、長寿庵付近を現地見学
10：35	休憩	—
10：45	4. 情報提供①	保養センター駒岡の施設概要、パット及びパークゴルフ場休止状況、意見交換①の進め方について情報提供
11：00	5. 意見交換①（40分）	グループに分かれてワークショップ（意見交換） ・保養センター駒岡で大切にしたいことは？ ・利用イメージ（過ごし方）を考えよう！
11：40	6. グループ発表・まとめ	意見交換①について、各グループからの発表
11：45	休憩	—
11：55	7. 情報提供②	意見交換②の進め方について情報提供
12：00	8. 意見交換②（40分）	グループに分かれてワークショップ（意見交換） ・楽しく過ごすための活動プログラムを考えよう！
12：40	9. グループ発表・まとめ	意見交換②について、各グループからの発表 全体進行役から、意見内容のまとめ
13：00	閉会	—

ワークショップの主なご意見のまとめ

魅力を高めるために必要な利活用の方向性	利用イメージ(過ごし方)と必要とする機能		主な利用者層	楽しく過ごすための活動(ソフトの取組)
<p>●人が集まる賑わい、交流することができる施設</p> <p>キーワード： 交流・親睦</p> <p>子どもから大人（高齢者）までの多世代が駒岡を通じて知り合い、関わり合うことができるよう、利用者にとって愛着が持てる居場所となることが求められる。</p>	<p>●利用イメージ(過ごし方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な世代が集まる、家族のふれあい 子どもと遊ぶ、小さい子ども同士がじゃれる（※母親や高齢者が見守る） 親子でバーベキュー、ピクニック、キャンプ、外でご飯を食べる 	<p>●必要とする機能(場のイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広く活用できる芝生などの広場 子どもが遊べるスペース、広場 大人の休憩・見守りができ、常設で座って話ができるスペース、施設（ベンチ） 子育て世代に向けた設備（授乳室・おむつ交換台） 食事などに役立つテーブル 屋外の絵本コーナー など 	<p>・近隣住民 ・区外の住民 ・子ども ・高齢者 ・障がい者 ・ファミリー ・子育て世代 ・若い世代(学生)</p>	<p>●駒岡周辺地域の魅力・賑わいづくり</p> <p>○朝市</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝市を充実させて話題をつくり、収益を確立させる。 キッチンガーデン・こまおかブランドを、地域と連携して構築していく。 地域主体となった運営体制づくり。 <p>○フリーマーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> フリーマーケットを中学生・高齢者と共にやりたい。 <p>●多世代交流・社会参加を促す活動</p> <p>○地域の人が主役となった体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりが講師役となって様々な教室を開く（市内の他教室との差別化） なんでも体験会（自然、陶芸）を行う。 昔遊び（お手玉・けん玉・）を教える。 <p>○長寿庵のリノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 長寿庵のリノベーション（みんなで掃除から始める）をやってはどうか。 お金をかけずに地域協働で行う。 <p>○親睦会</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義同士の親睦会を行えると良い。 <p>●多世代で参加できるイベント</p> <p>○気軽に楽しめる食のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> バーベキュー、いもパーティは楽しそう。 <p>○音楽イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ステージを活用した音楽イベント
<p>●近隣住民及び市民活動・表現の場となる施設</p> <p>キーワード： 生きがい・社会参加 学び・生涯学習</p> <p>地域の前向きな好奇心や意欲の実現を後押し、人同士が連携しながら生きがいを持って社会とつながっていくことができる活動・表現の場所となることが求められる。</p>	<p>●利用イメージ(過ごし方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 趣味などを披露するステージを使ったイベント(音楽、祭り) 買う(野菜、フリマ)・売る(カフェ、マルシェ) 長寿庵の活用(販売、制作) 菜園やキッチンガーデンでの農作業、収穫 自然学習(池、生物、植物) 	<p>●必要とする機能(場のイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外ステージの活用 広く活用できる芝生などの広場 制作や保管スペース等に活用できる長寿庵の改修 菜園利用ができる畑 木陰を生み出す樹木 既存の自然環境(植物、生物の生息環境)、ビオトープ(池) など 	<p>・近隣住民 ・区外の住民 ・サークル活動者・団体 ・子ども ・高齢者 ・障がい者 ・ファミリー ・若い世代(学生)</p>	<p>○朝市</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝市を充実させて話題をつくり、収益を確立させる。 キッチンガーデン・こまおかブランドを、地域と連携して構築していく。 地域主体となった運営体制づくり。 <p>○フリーマーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> フリーマーケットを中学生・高齢者と共にやりたい。 <p>●多世代交流・社会参加を促す活動</p> <p>○地域の人が主役となった体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりが講師役となって様々な教室を開く（市内の他教室との差別化） なんでも体験会（自然、陶芸）を行う。 昔遊び（お手玉・けん玉・）を教える。 <p>○長寿庵のリノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 長寿庵のリノベーション（みんなで掃除から始める）をやってはどうか。 お金をかけずに地域協働で行う。 <p>○親睦会</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義同士の親睦会を行えると良い。 <p>●多世代で参加できるイベント</p> <p>○気軽に楽しめる食のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> バーベキュー、いもパーティは楽しそう。 <p>○音楽イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ステージを活用した音楽イベント
<p>●健康づくりや健康増進を図ることができる施設</p> <p>キーワード： 健康増進・介護予防 趣味・レジャー</p> <p>冬の利用や新たなアクティビティの要素を充実し、体を動かすことを通じて、子ども達の身体の発達や発想を養うことにもつながる場となることが求められる。</p>	<p>●利用イメージ(過ごし方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 散歩(人・ペット) ウォーキング、ランニング 趣味などを動かす(ストレッチ、バスケット、壁打ちテニス、ヨガ) 冬の利用(子ども向けのスキー、クロスカントリー、かんじきウォーク) 子どもの外遊び パークゴルフ(パットと一体利用) ドッグラン 	<p>●必要とする機能(場のイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 散策・ランニング、冬季ができるパット・パークゴルフ場の園路 広く活用できる芝生などの広場 パークゴルフは復活利用⇔機能転用 パットゴルフは機能転用(散策路) 子ども向けの遊戯欲求を満たす地盤や施設(滑り台利用、築山・起伏利用など) 	<p>・近隣住民 ・区外の住民 ・サークル活動者・団体 ・子ども ・高齢者 ・障がい者 ・女性 ・若い世代(学生)</p>	<p>○朝市</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝市を充実させて話題をつくり、収益を確立させる。 キッチンガーデン・こまおかブランドを、地域と連携して構築していく。 地域主体となった運営体制づくり。 <p>○フリーマーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> フリーマーケットを中学生・高齢者と共にやりたい。 <p>●多世代交流・社会参加を促す活動</p> <p>○地域の人が主役となった体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりが講師役となって様々な教室を開く（市内の他教室との差別化） なんでも体験会（自然、陶芸）を行う。 昔遊び（お手玉・けん玉・）を教える。 <p>○長寿庵のリノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 長寿庵のリノベーション（みんなで掃除から始める）をやってはどうか。 お金をかけずに地域協働で行う。 <p>○親睦会</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義同士の親睦会を行えると良い。 <p>●多世代で参加できるイベント</p> <p>○気軽に楽しめる食のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> バーベキュー、いもパーティは楽しそう。 <p>○音楽イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ステージを活用した音楽イベント <p>●健康増進、アクティビティのプログラム</p> <p>○健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 体操、ヨガ教室 <p>○スポーツ(冬の利用を拡充)</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁打ちテニス ノルディックウォーク、かんじきウォーク、子ども向けスキー <p>●自然環境とふれあう活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達と自然学習 コスモスの花植え、池の生物観賞と餌の販売 <p>●季節の催事・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬まつり、春祭りの継続 「こまおか雪まつり」で体験の機会 ゆきあかり <p>●ボランティア活動の受け入れ、実践</p> <ul style="list-style-type: none"> こまおかボランティア隊を発足させて、若い世代も参加してもらい、各種活動プログラムの実施支援をしてはどうか。 <p>●施設の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックなどを活用して、若い世代向けに対応した情報発信 隠れ家的スポットとしての発信 など
<p>●休憩や憩い、くつろぎ、会話などを楽しめる施設</p> <p>キーワード： 保養・安息</p> <p>屋外で気軽にゆったりと時間を過ごすことや、何気ないひとときも充実感を持って楽しむことができるような場となることが求められる。</p>	<p>●利用イメージ(過ごし方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 外での会話、休憩 芝生でくつろぐ、木陰でくつろぐ 花見、観賞 	<p>●必要とする機能(場のイメージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 広く活用できる芝生などの広場(植物館跡地、屋内パークゴルフ場跡地) 常設で座って話ができるスペース、施設(ベンチ) 木陰を生み出す樹木、目を楽ませる花壇 その他利便施設(屋外トイレ、時計) 	<p>・近隣住民 ・子ども ・高齢者 ・障がい者 ・ファミリー</p>	<p>○朝市</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝市を充実させて話題をつくり、収益を確立させる。 キッチンガーデン・こまおかブランドを、地域と連携して構築していく。 地域主体となった運営体制づくり。 <p>○フリーマーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> フリーマーケットを中学生・高齢者と共にやりたい。 <p>●多世代交流・社会参加を促す活動</p> <p>○地域の人が主役となった体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者一人ひとりが講師役となって様々な教室を開く（市内の他教室との差別化） なんでも体験会（自然、陶芸）を行う。 昔遊び（お手玉・けん玉・）を教える。 <p>○長寿庵のリノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 長寿庵のリノベーション（みんなで掃除から始める）をやってはどうか。 お金をかけずに地域協働で行う。 <p>○親睦会</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義同士の親睦会を行えると良い。 <p>●多世代で参加できるイベント</p> <p>○気軽に楽しめる食のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> バーベキュー、いもパーティは楽しそう。 <p>○音楽イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ステージを活用した音楽イベント <p>●健康増進、アクティビティのプログラム</p> <p>○健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 体操、ヨガ教室 <p>○スポーツ(冬の利用を拡充)</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁打ちテニス ノルディックウォーク、かんじきウォーク、子ども向けスキー <p>●自然環境とふれあう活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達と自然学習 コスモスの花植え、池の生物観賞と餌の販売 <p>●季節の催事・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬まつり、春祭りの継続 「こまおか雪まつり」で体験の機会 ゆきあかり <p>●ボランティア活動の受け入れ、実践</p> <ul style="list-style-type: none"> こまおかボランティア隊を発足させて、若い世代も参加してもらい、各種活動プログラムの実施支援をしてはどうか。 <p>●施設の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイスブックなどを活用して、若い世代向けに対応した情報発信 隠れ家的スポットとしての発信 など

屋外施設の機能や利活用の仕方を充実させて、屋内施設の利用促進(レストラン、浴室、講座等)につなげる

高齢者、障がい者にとどまらず、家族や若い世代などに施設を利用してもらう利用者増を図る

その他、今後必要なことなど参考意見

バスによるアクセス強化、屋内体育館の検討、施設の愛称(ネーミング)づくり、事業の優先順位とたな卸し、職員の意見を聞く、意見箱、市の施設として全市レベルで利用促進を考える、レストラン利用などサービスの向上、室内娯楽の充実 など

札幌市保養センター駒岡屋外施設活用方針

平成 30 年（2018 年）4 月発行

市政等資料番号 01-F03-18-752

（編集・発行） 札幌市保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課
札幌市中央区北 1 条西 2 丁目
電話 011-211-2976